

シラバス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

キホン ジョウホ 基本情報	ネン ゼンキ 1年(前期)	ニンゲン シャカイ 人間と社会	ヒツシュウ 必修	タンイ ジカン 2単位30時間	ジュギガクタイ 授業形態(講義)
カモク メイ 科目名	ニンゲン リカイ 人間の理解 I ニンゲン ソンゲン ジリツ (人間の尊厳と自立)	タン トウ 担 当	ワタナベ チエミ 渡邊 智恵美		
			カンゴシ ジツムケイケン 看護師としての実務経験		
【授業の概要】 カイゴ ノゾム シツセン ヒツヨク ニンゲン メイ キホンナキリカイ ヤンテ ノゾムリネン レキシテキヘンセン マア トオ ニンゲン ソ 介護福祉を実践するために必要な人間に対する基本的理解を養う。福祉理念の歴史の変遷を学ぶことを通し、人間の尊 ンゲン ジンケンソンチ 義 ケンリヨウゴ カンガ カタ ヤシナ ホンニンシュタイ カンテン ジリツ カンガ カタ ジリツ セイカツ リカイ トオ セイカツ ササ 厳・人権尊重及び権利擁護の考え方を養う。本人主体の観点から自立の考え方、 自立生活の理解を通しその生活を支え ヒツヨウセイ リカイ る必要性を理解する。					
【授業の到達目標】 ジュギョウトウタマクヒョウ ここでは、人間の多面的理解と尊厳の保持、自立・自律した生活を支える必要性について理解することをねらいとする。 ニンゲン ソンゲン リカイ ソンゲン ナイヨウ グタイカ ヒツヨウ カテイ トオ カイゴ ウ 「人間の尊厳」を理解するためには、「尊厳」の内容を具体化することが必要であり、その過程を通して、介護を受ける ヒト ソンゲン マモ イギ ハイリョ オナ ヒト リカイ ジブン キ ト ネンダイ 人の尊厳を守ることの意義や配慮すべきことを同じ人として理解する。 また、自分では気に留めないことでも、年代の チガ ソンゲン トラ カタ タヨウセイ リカイ コジン セイカツヘンセン シャカイヘンカ ニンゲン カチカン フ 違いによる尊厳の捉え方に多様性があることを理解できるよう、個人の生活変遷や社会変化における人間の価値観にも触 コウギ オコナ れる。					
【授業の内容】 ジュギョウナイヨウ					
1	ガイダンス				
2	ニンゲン ソンゲン ジンケン フクシリネン 人間の尊厳と人権・福祉理念①				
3	ニンゲン ソンゲン ジンケン フクシリネン 人間の尊厳と人権・福祉理念②				
4	ニンゲン ソンゲン ジンケン フクシリネン 人間の尊厳と人権・福祉理念③				
5	ニンゲン ソンゲン ジンケン フクシリネン 人間の尊厳と人権・福祉理念④				
6	ソンゲン ジリツ レキシテキヘンセン 尊厳と自立をめぐる歴史の変遷①				
7	ソンゲン ジリツ レキシテキヘンセン 尊厳と自立をめぐる歴史の変遷②				
8	ソンゲン ジリツ レキシテキヘンセン 尊厳と自立をめぐる歴史の変遷③				
9	ソンゲン ジリツ レキシテキヘンセン 尊厳と自立をめぐる歴史の変遷④				
10	ソンゲン ジリツ レキシテキヘンセン 尊厳と自立をめぐる歴史の変遷⑤				
11	ソンゲン ジリツ レキシテキヘンセン 尊厳と自立をめぐる歴史の変遷⑥				
12	ジリツ カタ 自立のあり方①				
13	ジリツ カタ 自立のあり方②				
14	ジリツ カタ 自立のあり方③				
15	ソウカツ 総括				
セイセキョウカ ホウホウ キジュン 【成績評価の方法と基準】 講義への取り組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格と する。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】 ニンゲン リカイ サイシンカイゴフクシジヨウセイコウザ ダイ カン チョウオウホウキョッパン 『人間の理解』 <最新・介護福祉士養成講座 第1巻> 中央法規出版					
サンコウショ 【参考書】 ショウカイ 講義で紹介					
ビ コウ 【備 考】					

キホン ジョウホウ 基本情報	ネン ゼンキ 1年(前期)	ニンゲン シャカイ 人間と社会	ヒツシュウ 必修	タンイ ジカン 2単位30時間	ジュギョウカイタイコウギ 授業形態(講義)
カモクメイ 科目名	シャカイ リカイ 社会の理解Ⅰ	タン トウ 担 当	アダチ トモカズ 安達 智一		
			カイゴフクシン ジツムケイケン 介護福祉士としての実務経験		
ジュギョウガイヨウ 【授業の概要】					
コジン シュウダンシャカイ タンイ ニンゲン リカイ シテン ヤシナ セイカツ シャカイ カンケイセイ タイケイテキ ガクシュウ 1 個人や集団、社会の単位で人間を理解する視点を養い、生活と社会の関係性を体系的にとらえる学習とする。 ヒトヒト セイカツ バ テイキ カンテン テイキキョウセイシャカイチイキホウカツ キ ソテキ チシキ シュウトク ガクシュウ 2 人々の生活の場である地域という観点から、地域共生社会や地域包括ケアの基礎的な知識を習得する学習とする。 ニホン シャカイホショウキホンテキ カンガカタ リカイ ガクシュウ 3 日本の社会保障の基本的な考え方、しくみについて理解する学習とする。					
ジュギョウトウタツクヒョウ 【授業の到達目標】					
コジン カゾク チイキ シャカイ テイキ セイカツ コウゾウマナ セイカツシャカイ カカワ ジジョ ゴジョ キョウジョウジョテンカイリカイ 1 個人・家族・地域・社会のしくみと、地域における生活の構造を学ぶことで、生活と社会の関りや自助・互助・共助・公助の展開を理解する。 テイキキョウセイシャヤクワキホウカツ キホンテキ カンガカタ リカイ ジツゲン セイド シサク リカイ 2 地域共生社会や地域包括ケアシステムの基本的な考え方を理解する。さらに、その実現のための制度・施策を理解する。 シャカイホショウセイ 岸ホンテキ カンガカタ リカイ シャカイホショウカンジョウカダイ 3 社会保障制度の基本的な考え方としくみを理解し、社会保障の現状と課題をとらえることができる。					
ジュギョウナイヨウ 【授業の内容】					
1	オリエンテーション	ニンゲン シャカイ カタ 人間と社会のとらえ方			
2	生活の基本機能とライフスタイルの変化について	セイカツ キホンキノウ ヘンカ 生活の基本機能とライフスタイルの変化について			
3	家族の機能と役割と構造や形態の変化及び社会・組織の機能と役割について	カゾク キノウ ヤクワリ コウゾウ ケイタイ ヘンカ オヨ シャカインソシキ キノウ ヤクワリ 家族の機能と役割と構造や形態の変化及び社会・組織の機能と役割について			
4	地域・地域社会、地域社会における生活支援ついて	テイキ テイキシャカイ テイキシャカイ セイカツシエン 地域・地域社会、地域社会における生活支援ついて			
5	地域福祉の発展	テイキフクシ ハツテン 地域福祉の発展			
6	地域共生社会と地域包括ケアシステムについて	テイキキョウセイシャカイチイキホウカツ 地域共生社会と地域包括ケアシステムについて			
7	チェックテスト(第1章～第2章)	ダイ ショウ ダイ ショウ チェックテスト(第1章～第2章)			
8	社会保障の基本的な考え方	シャカイホショウ キホンテキ カンガカタ 社会保障の基本的な考え方			
9	日本の社会保障制度の発達	ニホン シャカイホショウセイド ハツタツ 日本の社会保障制度の発達			
10	日本の社会保障のしくみ①	ニホン シャカイホショウ シャカイホケンホウシキネンキンホケン 日本の社会保障のしくみ① 社会保険方式・年金保険			
11	日本の社会保障のしくみ②	ニホン シャカイホショウ ネンキン ホケンイリョウホケン 日本の社会保障のしくみ② 年金保険・医療保険			
12	日本の社会保障のしくみ③	ニホン シャカイホショウ コヨウホケン ロウサイホケン カクシシャカイフジョ 日本の社会保障のしくみ③ 雇用保険・労災保険・各種社会扶助について			
13	現代社会と社会保障制度	ゲンダイシャカイシャカイホショウセイド 現代社会と社会保障制度			
14	チェックテスト(第3章)	ダイ ショウ チェックテスト(第3章)			
15	確認テスト(第1章～第3章)・GW(社会保障の意義と機能・少子高齢化と持続可能な社会保障のあり方)	カクニン ダイ ショウ ダイ ショウ シャカイホショウ イ ギ キノウ ショウシコウレイカ ジゾクカノウ シャカイホショウ カタ 確認テスト(第1章～第3章)・GW(社会保障の意義と機能・少子高齢化と持続可能な社会保障のあり方)			
セイセキヒョウカ ホウホウ キジュン 【成績評価の方法と基準】					
シュッセギユコウアイド テイシュツザク テイキコウサ セイセキ 講義への取り組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
シャカイ リカイ サインカイゴフクシシヨウセイコウザ ダイ カン チュウオウホウキシュッパン 『社会の理解』＜最新・介護福祉士養成講座 第2巻＞ 中央法規出版					
サンコウショ 【参考書】					
ビ コウ 【備 考】					

シラバス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

キホン ジョウホ 基本情報	ネン ゼンキ 1年(前期)	キョウヨウ 教養	ヒツシュウ 必修	タンイ ジカン 2単位30時間	ジュギキタイエンシュウ 授業形態(演習)
カモク メイ 科目名	カセイガクジッシュウ 家政学実習	タン トウ 担 当	ヒラオ カズコ 平尾 和子		
ジュギョウガイヨウ 【授業の概要】 チョウリ ショクブンカ カン キホンテキ チシキ ギジュツ マナ コウレイシャ ショウ シャ オウ ジョウタイナカ シエン ホウホウ ギジュツ 調理や食文化に関する基本的な知識と技術について学ぶ。高齢者や障がい者に応じた、それぞれの状態の中での支援の方法と技術について学ぶ。					
ジュギョウトウタテクヒョウ 【授業の到達目標】 ショウ チョウリ カン サマザマ チシキ ギノウ シュウトク コウレイシャ ショウ シャ カテイセイカゾシエンギジュツノウリョクヤシナ 食・調理に関する様々な知識や技能を習得し、高齢者や障がい者の家庭生活支援技術能力を養う。 アンゼン タ ショク カタ マナ ジョウキョウカ シエン ホウホウ ギジュツ シュウトク た、安全でおいしく食べやすい食のととのえ方を学び、それぞれの状況下での支援の方法と技術を習得する。					
ジュギョウナイヨウ 【授業の内容】					
1	ジッシュウ ココロエ モクテキ フクソウ エイセイ チョウリホウホウ シュルイ 実習の心得、目的、服装、衛生、調理方法の種類				
2	チョウリ ケイソク ドウグ アツカカタ ザイリョウキ カタ 調理の計測、道具の扱い方、材料の切り方				
3	カイゴショク チョウリ リョウイテンセッショタンゲショウガイ 介護食の調理と留意点、摂食・嚥下障害				
4	ジッシュウ ハン タ カタ コンゴザン ト カタ ヤサイ キ カタ 実習① ご飯の炊き方、混合出汁の取り方、野菜の切り方				
5	ベイハン ジル トリニク ニ 米飯 さつまい 鶏肉のさっぱり煮 ミルクくずもち				
6	ジッシュウ メン カタ ダシ ト カタ コ クチウスクチョウユ ツカ ワ 実習② 麺のゆで方、出汁の取り方、濃い口・薄口醤油の使い分け				
7	ニ コマツナ アツア ニ トウフ シラタマ かけそば カレイの煮つけ 小松菜と厚揚げの煮びたし フルーツ豆腐白玉				
8	ジッシュウ タ カタ ヤサイ キ カタ シタ カンテン チガ 実習③ おかゆの炊き方、野菜の切り方、下ごしらえ、寒天とゼラチンの違い				
9	ゼンガユブタ ニク ショウガヤ ツ ア ミズ 全粥 豚しゃぶ肉の生姜焼き なめらかポテトのサラダ レタスとパプリカの付け合わせ 水ようかん				
10	ジッシュウ タマゴ チョウリホウヤサイ チョウリホウ 実習④ 卵の調理法、野菜の調理法				
11	ハンジュク ふわふわ半熟オムライス キャベツとベーコンのスープ パンナコッタ				
12	ジッシュウ ヤサイ スノモノ 実習⑤ 野菜のあんかけうどん きゅうりとおろしリンゴの酢の物				
13	ジッシュウ ダシ ト カタ ヤサイ シタ ニ コウレイシム 実習⑥ 出汁の取り方、野菜の下ごしらえ・煮かた、高齢者向けのおやつ				
14	トリニク コンサイ チクゼンニ ミソシル コウレイシム カシ 鶏肉と根菜の筑前煮 あおさの味噌汁 高齢者向けのお菓子				
15	ジッシュウ テイクシケン 実習まとめ 定期試験について				
セイセキョウカ ホウホウ キジュン 【成績評価の方法と基準】 講義への取組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】 『五訂増補食品成分表 2024』 実教出版 『カテイ ツク ノ コ コウレイシャ ショク カブシキガイシャ 『家庭で作れる かみやすい 飲み込みやすい 高齢者のやわらか食132』 株式会社Gakken					
サンコウショ 【参考書】					
ビ コウ 【備考】					

シ ラ バ ス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

キホン ジョウホ 基本情報	ネン ゼンキ 1年(前期)	カイゴ 介護	ヒツシュウ 必修	タンイ ジカン 4単位60時間	ジュギキョウタイ 授業形態(講義)
カモク メイ 科目名	カイゴ キホン 介護の基本Ⅰ	タン トウ 担 当	トガワ カヨコ 戸川 佳良子		
		カイゴ フクシシ ジツムケイケン 介護福祉士としての実務経験			
ジュギョウガイヨウ 【授業の概要】					
カイゴフクシシ キホン リネン チイキ キバン セイカツ ケイゾクセイ シエン 介護福祉士の基本となる理念や、地域を基盤とした生活の継続性を支援するためのしぐみを理解し、介護福祉の専門職としての能力を養うこと					
マナ を学ぶねらいとしていく。					
ジュギョウトウタツクヒョウ 【授業の到達目標】					
① カイゴフクシシ キホン リネン オヨ カイゴ ガイネン タダ リカイ 介護福祉士の基本となる理念及び介護の概念を正しく理解する。					
② カイゴフクシシ ヤクワリ キノウ リカイ 介護福祉士の役割と機能について理解する。					
③ カイゴフクシシ リンリ リカイ 介護福祉士の倫理について理解する。					
④ ジリツ ム カイゴ シテン 自立に向けた介護について、ICFの視点やリハビリテーションの視点、介護予防の視点等を学び多面的に理解していく。					
ジュギョウナイヨウ 【授業の内容】					
1	オリエンテーション センモンショク カイゴ タンジョウ シャカイテキ ハイケイ 専門職による「介護」が誕生した社会的な背景				
2	カイゴ ナ タ 介護の成り立ちについて				
3	カイゴ ガイネン ヘンセン 介護の概念の変遷① 1970年代～				
4	カイゴ ガイネン ヘンセン カイゴ ギョウヘンセン カイゴフクシシ 介護の概念の変遷② 介護の業の変遷と介護福祉士				
5	カイゴフクシ キホンリネン ソンゲン ササ カイゴ 介護福祉の基本理念① 尊厳を支える介護とは				
6	カイゴフクシ キホンリネン ジリツ ササ カイゴ 介護福祉の基本理念② 自立を支える介護とは				
7	ジレイ カイゴフクシ リネン ジッセン カンガ 事例から「介護福祉の理念」と「実践」を考える①				
8	ジレイ カイゴフクシ リネン ジッセン カンガ 事例から「介護福祉の理念」と「実践」を考える②				
9	カイゴフクシシ ヤクワリ キノウ チイキホウカツ 介護福祉士の役割と機能① 地域包括ケアシステムについて				
10	カイゴフクシシ ヤクワリ キノウ カイゴフクシシ カツヤク パ シュウキツ 介護福祉士の役割と機能② 介護福祉士が活躍する場と終末期のケアについて				
11	カイゴフクシシ ヤクワリ キノウ サイガイジ シエン 介護福祉士の役割と機能③ 災害時の支援				
12	シャカイフクシシオヨ カイゴフクシシホウ カイゴフクシシ ギムキテイ シュトクホウホウ 社会福祉士及び介護福祉士法について 介護福祉士の義務規定と取得方法について				
13	モト カイゴフクシシゾウ 求められる介護福祉士像について				
14	ショウ テイキンケン タイサク 小テストと定期試験対策				
15	カエ ふり返りとまとめ				
セイセキョウカ ホウホウ キジュン 【成績評価の方法と基準】					
講義への取り組み20%(出席・受講態度・提出物等)、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。					
評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
カイゴ キホン 『介護の基本Ⅰ』 <最新・介護福祉士養成講座 第3巻> 中央法規出版					
サンコウショ 【参考書】					
ビ コウ 【備考】					

シ ラ バ ス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

キホン ジョウホ 基本情報	ネン コウキ 1年(後期)	カイゴ 介護	ヒツシュウ 必修	タンイ ジカン 4単位60時間	ジュギキョウタイ 授業形態(講義)
カモク メイ 科目名	カイゴ キホン 介護の基本 I	タン トウ 担 当	トガワ カ ヨシコ 戸川 佳良子		
カイゴ フクシシ ジツムケイケン 介護福祉士としての実務経験					
ジュギョウガイヨウ 【授業の概要】					
カイゴフクシシ キホン リネン チイキ キバン セイカツ ケイゾクセイ シエン リカイ カイゴフクシ センモンショク ノウリョクヤシナ 介護福祉士の基本となる理念や、地域を基盤とした生活の継続性を支援するためのしくみを理解し、介護福祉の専門職としての能力を養うこと マナ を学ぶねらいとしていく。					
ジュギョウトウタテクヒョウ 【授業の到達目標】					
① カイゴフクシシ キホン リネン オヨ カイゴ ガイネン タダ リカイ 介護福祉士の基本となる理念及び介護の概念を正しく理解する。 ② カイゴフクシシ ヤクワリ キノウ リカイ 介護福祉士の役割と機能について理解する。 ③ カイゴフクシシ リンリ リカイ 介護福祉士の倫理について理解する。 ④ ジリツ ム カイゴ シテン シテン カイゴヨボウ シテン トウ マナ タメンテキ リカイ 自立に向けた介護について、ICFの視点やリハビリテーションの視点、介護予防の視点等を学び多面的に理解していく。					
ジュギョウナイヨウ 【授業の内容】					
16	カイゴフクシシ リンリ 介護福祉士の倫理について①	リンリテキ カイゴジッセン 倫理的な介護実践について			
17	カイゴフクシシ リンリ 介護福祉士の倫理について②	ジレイ モト リンリテキ カイゴジッセン 事例に基づいた倫理的な介護実践			
18	ニホンカイゴフクシシカイ 日本介護福祉士会の倫理綱領	リンリコウリョウ			
19	ジリツシエン カンガカタ 自立支援の考え方				
20	カンガカタ ICFの考え方について				
21	ジリツシエン 自立支援とリハビリテーション①				
22	ジリツシエン 自立支援とリハビリテーション②				
23	ジリツシエン カイゴヨボウ 自立支援と介護予防について①				
24	ジリツシエン カイゴヨボウ 自立支援と介護予防について②				
25	ショウ カエ 小テストとふり返り				
26	ジャッセンガク カイゴ 実践学としての介護				
27	ショウガイシャ ジリツ ショウガイシャシンリ ヨ ト ジリツシエン カンガカタ 障害者にとっての自立 障害者心理から読み取る自立支援の考え方				
28	センモンショクナカ カイゴフクシシ ミリョク 専門職の中における介護福祉士の魅力				
29	テイキシケンタイサク 定期試験対策				
30	ゼンタイ カエ 全体のふり返りとまとめ				
セイセイキョウカ ホウホウ キジュン 【成績評価の方法と基準】					
講義への取り組み20%(出席・受講態度・提出物等)、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
カイゴ キホン サイシン カイゴフクシシヨウセイコウザ ダイ カン チュウオウホウキシュッパン 『介護の基本 I』 <最新・介護福祉士養成講座 第3巻> 中央法規出版					
サンコウショ 【参考書】					
ビ コウ 【備 考】					

きほん じょうほ 基本情報	ねん ぜんき 1年(前期)	かいご 介護	ひっしゅう 必修	たんい じかん 4単位60時間	じゅぎ けいたいこうぎ 授業形態(講義)
かもく めい 科目名	かいご きほん 介護の基本Ⅱ	たん とう 担 当	しみず あきひこ 清水 明彦		
			かいご ふくしし じつむ けいけん 介護福祉士としての実務経験		
【授業の概要】					
かいご きほん りねん ちいき きぼん せいかつ けいぞくせい しえん 介護の基本となる理念や、地域を基盤とした生活の継続性を支援するためのしくみを理解し、介護福祉の専門職としての能力と態度を養うための科目。					
【授業の到達目標】					
1. かいご う せいかつ ひと 介護を受けて生活する人およびその生活について理解する。					
2. かいご ひつよう ひと せいかつ ささ かんてん 介護を必要とする人の生活を支える観点から、フォーマルおよびインフォーマルな支援、他職種連携・地域連携について理解する。					
3. かいご あんぜん かくほ かいひ ほうほう 介護における安全の確保、リスクを回避するための方法などについて理解する。					
4. かいごじゅうじしやしんしん けんこう かいご じっせん けんこかんり ろうどかんきょうかんり 介護従事者が心身ともに健康に、介護をを実践するための健康管理や労働環境の管理について理解する。					
【授業の内容】					
1	だい しょうわたし せいかつ りかい せいかつ なに かいご ひつよう ひと く りかい 第1章 私たちの生活の理解 (生活とは何か？ 介護を必要とする人たちの暮らしを理解する)				
2	" (ひと せいかつ かんが その人らしさとは？ 生活のしづらさについて考える)				
3	だい しょうかいごふくし ひつよう ひと せいかつ ささ ちいききょうせいやかい ちいきほうかつ 第2章 介護福祉を必要とする人の生活を支えるしくみ(地域共生社会、地域包括ケアシステム)				
4	" (せいかつ ささ しゃかいてき きょたく 生活を支える社会的サービス①: 居宅サービス)				
5	" (せいかつ ささ しゃかいてき しせつ 生活を支える社会的サービス②: 施設サービス)				
6	" (せいかつ ささ しゃかいてき ちいきみっちやくがた 生活を支える社会的サービス③: 地域密着型サービス)				
7	" (せいかつ ささ しゃかいてき しょうがいふくし かいごきゅうふ 生活を支える社会的サービス④: 障害福祉サービス・介護給付)				
8	" (せいかつ ささ しゃかいてき しょうがびくし くんれんときゅうふ 生活を支える社会的サービス⑤: 障害福祉サービス・訓練等給付)				
9	" (ちいきほうかつしえん しゃきょう ほうじん 地域連携の意義、地域連携に関わる機関の理解①: 地域包括支援センター、社協、NPO法人)				
10	" (" (ちいきふくし にな て ②: 地域福祉の担い手)				
11	第3章 介護における安全の確保とリスクマネジメント(介護における安全の確保、セーフティーマネジメント)				
12	" (リスクマネジメントとは何か？ 身体拘束について)				
13	" (かんせんしなほさく かんせん かん ちしき 感染症対策 感染に関する知識)				
14	ぜんきふ かせ 前期振り返り①				
15	ぜんきふ かせ 前期振り返り②				
せいせきようか ほうほう きじゆん 【成績評価の方法と基準】					
しゅっせぎょうカウaid テイシヨツナド テイキコウサ セイセキ 講義への取組み20%(出席・受講態度・提出物等)、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。					
【テキスト】					
かいご きほん さいしん かいごふくしししょうせいこうざ だい かん ちゅうおうほうしゅつばん 『介護の基本Ⅱ』 <最新・介護福祉士養成講座 第4巻> 中央法規出版					
さんこうしよ 【参考書】					
しゃかい りかい さいしん かいごふくしししょうせいこうざ だい かん ちゅうおうほうしゅつばん 『社会の理解』 <最新・介護福祉士養成講座 第2巻> 中央法規出版					
【備 考】					

シ ラ バ ス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

きほん じょうほ 基本情報	ねん こうき 1年(後期)	かいご 介護	ひっしゅう 必修	たんい じかん 4単位60時間	じゅぎ けいたいこうぎ 授業形態(講義)
かちく めい 科目名	かいご きほん 介護の基本Ⅱ	たん とう 担 当	しみず あきひこ 清水 明彦		
			かいご ふくしし じつむ けいけん 介護福祉士としての実務経験		
【授業の概要】					
かいご きほん りねん ちいき きげん せいかつ けいぞくせい しえん 介護の基本となる理念や、地域を基盤とした生活の継続性を支援するためのしくみを理解し、介護福祉の専門職としての能力と態度を養うための科目。					
【授業の到達目標】					
1. かいご う せいかつ ひと せいかつ りかい 介護を受けて生活する人およびその生活について理解する。					
2. かいご ひつよう ひと せいかつ きさ かんてん しえん た しよくめいけい ちい きれん けい りかい 介護を必要とする人の生活を支える観点から、フォーマルおよびインフォーマルな支援、他職種連携・地域連携について理解する。					
3. かいご あんぜん かくほ かいひ ほうほう りかい 介護における安全の確保、リスクを回避するための方法などについて理解する。					
4. かいご じゅうじしんしん けんこう かいご じっせん けんこうかんり ろうどかんきょうかんり りかい 介護従事者が心身ともに健康に、介護をを実践するための健康管理や労働環境の管理について理解する。					
【授業の内容】					
16	せいかつ きさ 生活を支えるフォーマルサービス	かいご ほけん ほう ぜんきふくしゅう ・介護保険法(前期復習)			
17	せいかつ きさ 生活を支えるフォーマルサービス	しょうがいそごもえん ほう ぜんきふくしゅう ・障害者総合支援法(前期復習)			
18	せいかつ きさ 生活を支えるインフォーマルサービス	インフォーマルサービスの種類と提供者			
19	だい しょうきょうどう たしよくしゅ きのう やくわりたしよくしゅれんけいきょうどう 第4章 協働する他職種の機能と役割(他職種連携・協働とは)				
20	〃	ほけん いりょうふくししよく やくわり (保険・医療・福祉職の役割と機能①)			
21	〃	ほけん いりょうふくししよく やくわり きのう じぎょうしよ はいち せんもんしよく (保険・医療・福祉職の役割と機能② 事業所に配置される専門職)			
22	た しよくめいけいきょうどうひつようせい (他職種連携・協働の必要性)				
23	〃	た しよくめいけいきょうどうもと きほんてき のうりよく (他職種連携・協働に求められる基本的な能力)			
24	た しよくめいけいきょうどうじっさい (他職種連携・協働の実際)				
25	だい しょうかいごじゅうじしゃ あんぜんけんこうかんり いぎ もくてき 第5章 介護従事者の安全(健康管理の意義と目的)				
26	〃	はたらひと けんこう せいかつ まも ほうせいど (働く人の健康や生活を守る法制度)			
27	〃	けんこうかんり からだ けんこうかんり (こころの健康管理、身体の健康管理)			
28	〃	ろうどかんきょうせいび (労働環境の整備)			
29	こうきふ かい 後期振り返り①				
30	こうきふ かい 後期振り返り②				
【成績評価の方法と基準】					
シュッセギョクオイド テイシゴツナド テイキコウサ セイセキ 講義への取組み20%(出席・受講態度・提出物等)、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。					
【テキスト】					
かいご きほん さいしん かいごふくししやうせいこうぎ だい かん ちゅうおうほうしゅつぽん 『介護の基本Ⅱ』 <最新・介護福祉士養成講座 第4巻> 中央法規出版					
さんこうしよ 【参考書】					
しゃかい りかい さいしん かいごふくししやうせいこうぎ だい かん ちゅうおうほうしゅつぽん 『社会の理解』 <最新・介護福祉士養成講座 第2巻> 中央法規出版					
び こう 【備考】					

シ ラ バ ス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

きほん じょうほう 基本情報	ねん こうき 1年(後期)	かいご 介護	ひっしゅう 必修	たんい じかん 2単位30時間	じゅぎょうたい 授業形態(講義)
かちめい 科目名	かいご きほん 介護の基本Ⅲ	たん とう 担 当	いちかわ やすろう 市川 泰朗		
			りがくりょうほうし じつむけいけん 理学療法士としての実務経験		
じゅぎょうがいよう 【授業の概要】 介護の基本では、介護福祉の基本となる理念を理解し、介護福祉士としての倫理 に基づき、 その役割と機能である、介護を必要とする人の理解と生活を支えるしく み、 自立支援、介護実践における安全とリスクマネジメント、他職種連携、介護従事者の安全に関して、介護実践の基礎となる知識を理論的に学ぶ。					
じゅぎょうとうたつりく 【授業の到達目標】 「尊厳の保持」「自立支援」という介護の考え方を理解すると共に、「介護を必要とする人」を、 生活の観点から捉えるための学習とする。また介護における安全やチームケア等について理解する。					
じゅぎょうないよう 【授業の内容】					
1	コースオリエンテーション				
2	総論① リハビリテーションの理念・領域と役割				
3	総論② リハビリテーションの考え方・ICFについて				
4	総論③ リハビリテーションと福祉用具・住宅改造				
5	実技① 基本動作の介助法・ボディメカニクス				
6	各論① リハビリテーション介護①				
7	各論② リハビリテーション介護②				
8	各論③ 高齢者のリハビリテーション				
9	各論④ 障害別のリハビリテーションの実際① 廃用症候群				
10	各論⑤ 障害別のリハビリテーションの実際② 脳卒中				
11	各論⑥ 障害別のリハビリテーションの実際③ 整形外科疾患				
12	実技② 車イス操作・杖歩行・腰痛体操				
13	各論⑦ ICFケーススタディ				
14	各論⑧ 地域リハビリテーション				
15	まとめ				
せいせきひょうか ほうほう きじゆん 【成績評価の方法と基準】 講義への取組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】 『介護の基本Ⅰ』＜最新・介護福祉士養成講座 第3巻＞ 中央法規出版 オリジナルプリント					
【参考書】					
【備 考】					

シラバス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

キホン ジョウホ 基本情報	ネン ゼンキ 1年(前期)	カイゴ 介護	ヒツシュウ 必修	タンイ ジカン 4単位60時間	ジュギョウタイコウギ 授業形態(講義)
カモク メイ 科目名	ギジュツ コミュニケーション技術	タン トウ 担 当	ワタナベ チエミ 渡邊 智恵美		
			カンゴシ ジツムケイケン 看護師としての実務経験		
ジュギョウガイヨウ 【授業の概要】					
ギジュツ ニンゲンカンケイ マナ コミュニケーション技術では、人間関係とコミュニケーションで学ぶコミュニケー ションの 基礎的な知識を基盤に、本人					
オヨ カゾク 及び家族とのよりよい関係性の構築や障害の特性に応じたコミュニケーションの基本的な知識・技術を習得する。介護に					
ジョウホウキョウユヅギ カツヨウ カンリ カン キホンチシキ ギジュツ シュウトク おけるチームのコミュニケーションについて、情報共有の意義、 活用、管理などに関する基本知識・技術を習得する。					
ジュギョウトウタツクヒョウ 【授業の到達目標】					
カイゴ タイショウシャ シエンカンケイ コウチク ジョウホウ キョウユウカトウ カイゴジッセン ヒツヨウ 介護の対象者との支援関係の構築や情報の共有化等、介護実践に必要なコミュニケーションを習得する。また、利用者の					
トクセイ オウ テキセツ 特性に応じた適切なコミュニケーションの実践が可能となることをねらいとする。さらに、文章（記録、報告書等）を通					
カイゴ ジッセン ヒツヨウ コジンジョウホウ アツカ カタ ジョウホウ キョウユウ カンリ シカタ リカイ ジッセンカノウ じて介護実践に必要な個人情報の扱い方や情報の共有、管理の仕方を理解し、実践可能となるようにする。					
ジュギョウナイヨウ 【授業の内容】					
1	ガイダンス				
2	コミュニケーションのキホン 基本				
3	コミュニケーションのタイショウ 対象				
4	エンジョカンケイ 援助関係とコミュニケーション①				
5	エンジョカンケイ 援助関係とコミュニケーション②				
6	コミュニケーションのキホンギジュツ 基本技術①				
7	コミュニケーションのキホンギジュツ 基本技術②				
8	コミュニケーションのキホンギジュツ 基本技術③				
9	コミュニケーションのキホンギジュツ 基本技術④				
10	コミュニケーションのキホンギジュツ 基本技術⑤				
11	チームのコミュニケーション①				
12	チームのコミュニケーション②				
13	チームのコミュニケーション③				
14	チームのコミュニケーション④				
15	ゼンキソウカツ 前期総括				
セイセキョウカ ホウホウ キジュン 【成績評価の方法と基準】					
講義の取り組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
ギジュツ サイシンカイゴフクシシヨウセイコウザ ダイ カン チュウオウホウキョウパン 『コミュニケーション技術』＜最新・介護福祉士養成講座 第5巻＞ 中央法規出版					
サンコウショ 【参考書】					
コウギ ショウカイ 講義で紹介					
ビ コウ 【備 考】					

シ ラ バ ス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

キホン ジョウホ 基本情報	ネン コウキ 1年(後期)	カイゴ 介護	ヒツシュウ 必修	タンイ ジカン 4単位60時間	ジュギキョウタイコウギ 授業形態(講義)
カモク メイ 科目名	ギジュツ コミュニケーション技術	タン トウ 担 当	ワタナベ チエミ 渡邊 智恵美		
			カンゴシ 看護師としての実務経験		
(ジュギョウノガイヨウ) 【授業の概要】					
ギジュツ ニンゲンカンケイ マナ コミュニケーション技術では、人間関係とコミュニケーションで学ぶコミュニケーションの 基礎的な知識を基盤に、本人					
オヨ カゾク 及び家族とのよりよい関係性の構築や障害の特性に応じたコミュニケーションの基本的な知識・技術を習得する。介護に					
ジョウホウキョウユウギ カツヨウ カンリ カン キホンチシキ ギジュツ シュウトク おけるチームのコミュニケーションについて、情報共有の意義、 活用、管理などに関する基本知識・技術を習得する。					
ジュギョウトウタツキョウ 【授業の到達目標】					
カイゴ ショウヨウ 介護の対象者との支援関係の構築や情報の共有化等、介護実践に必要なコミュニケーションを習得する。また、利用者の					
トクセイ オウ テキセツ 特性に応じた適切なコミュニケーションの実践が可能となることをねらいとする。さらに、文章（記録、報告書等）を通					
カイゴ ジッセン ヒツヨウ コジンジョウホウ アツカ カタ ジョウホウ キョウユウ カンリ シカタ リカイ ジッセンカノウ じて介護実践に必要な個人情報の扱い方や情報の共有、 管理の仕方を理解し、 実践可能となるようにする。					
ジュギョウナイヨウ 【授業の内容】					
16	トクセイ オウ 特性に応じたコミュニケーション①				
17	トクセイ オウ 特性に応じたコミュニケーション②				
18	トクセイ オウ 特性に応じたコミュニケーション③				
19	トクセイ オウ 特性に応じたコミュニケーション④				
20	トクセイ オウ 特性に応じたコミュニケーション⑤				
21	トクセイ オウ 特性に応じたコミュニケーション⑥				
22	トクセイ オウ 特性に応じたコミュニケーション⑦				
23	カゾク 家族とのコミュニケーション①				
24	カゾク 家族とのコミュニケーション②				
25	カゾク 家族とのコミュニケーション③				
26	カゾク 家族とのコミュニケーション④				
27	カゾク 家族とのコミュニケーション⑤				
28	ジレイケントウ カン ギジュツ 事例検討に関する技術①				
29	ジレイケントウ カン ギジュツ 事例検討に関する技術②				
30	コウキ ソウカツ 後期総括				
セイセイキョウカ ホウホウ キジュン 【成績評価の方法と基準】					
講義の取り組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
ギジュツ サイシンカイゴフクシシヨウセイコウザ ダイ カン チュウオウホウキョウバン 『コミュニケーション技術』 <最新・介護福祉士養成講座 第5巻> 中央法規出版					
サンコウショ 【参考書】					
コウギ ショウカイ 講義で紹介					
ビ コウ 【備 考】					

シラバス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

キホン ジョウホ 基本情報	ネン ゼンキ 1年(前期)	カイゴ 介護	ヒツシュウ 必修	タンイ ジカン 4単位60時間	ジュギキョウタイエンシュウ 授業形態(演習)
カモク メイ 科目名	セイカツシエンギジュツ 生活支援技術Ⅱ-I	タン トウ 担 当	トガワ カヨコ 戸川 佳良子		
カイゴフクシシ ジツムケイケン 介護福祉士としての実務経験					
ジュギョウガイヨウ 【授業の概要】 生活支援技術では、 I C F の視点を生活支援に活かすことの意義を理解し、自立に向けた居住環境、移動、身支度、食 クジ ニュウヨク セイケツホジ ハイ カジ キュウソク スイミン ジンセイ サイシュウダンカイ カイゴ フクシヨウグ イギ カツヨウ キソテキ 事、入浴・清潔保持、排せつ、家事、休息・睡眠、人生の最終段階における介護、 福祉用具の意義と活用について基礎的 チシキ ギジュツ マナ 知識 技能 マナ					
ジュギョウトウタツクヒョウ 【授業の到達目標】 介護福祉士は、支援が必要な利用者（高齢者、障がい者）に対して、自立（自律）した生活が 送れるように、利用者個々 ジョウキョウカ カイゴ オコナ センモンショク セイカツシエンギジュツ リョウウシャ ソンゲン ヒト セイカツ オク の状況に合わせた介護を行う専門職jである。生活支援技術では、利用者が尊厳 をもって、その人らしい生活を送るうえ カイゴショク シエン サイ ヒツヨウ カンガ カタ ギホウ シュウトク で、介護職が支援する際に必要な考えや技術を習得する					
ジュギョウナイヨウ 【授業の内容】					
1	セイカツシエン キボンテキ カンガカタ 生活支援の基本的な考え方				
2	シツナイカンキョウジョウセイ 室内環境の調整				
3	ベッドメイキング				
4	ガシノウジ 臥床時のベッドメイキング				
5	ショクジ カイゴ 食事の介護				
6	リョウウシャ ジョウタイオウ ショクジ 利用者の状態に応じた食事				
7	セイケツホジ カイゴ 清潔保持の介護				
8	セイケツホジ カイゴ キボン 清潔保持の介護の基本				
9	セイケツホジ カイゴ ジッサイ 清潔保持の介護の実際				
10	ニュウヨクカイゴ リュウイテン 入浴の介護の留意点				
11	ニュウヨクカイゴ ジッサイ 入浴の介護の実際				
12	ハイセツ カイゴ 排泄の介護				
13	ハイセツ カイゴ リュウイテン 排泄の介護の留意点				
14	ハイセツ カイゴ ジッサイ 排泄の介護の実際				
15	ゼンキ フ カエ ゼンキシケン タイサクカイセツ 前期振り返り 前期試験対策・解説				
セイセキョウカ ホウホウ キジュン 【成績評価の方法と基準】 コウギ トリク シュッセギョウカイド テイシゾツナド テイキコウサ セイセキ ヒョウカ テンマンテン ヒョウカ ヒョウカテン テンイジョウ ゴウカク 講義への取組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とす る。					
【テキスト】 セイカツシエン ギジュツ サイシンカイゴフクシシヨウセイコウザ ダイ カン チュウオウホウキシニツパン 『生活支援技術Ⅱ』 <最新・介護福祉士養成講座 第7巻> 中央法規出版					
サンコウショ 【参考書】					
ビ コウ 【備 考】					

シラバス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

キホン ジョウホ 基本情報	ネン コウキ 1年(後期)	センモホモク 専門科目	ヒツシュウ 必修	タンイ ジカン 4単位60時間	ジュギギョウタイエンシュウ 授業形態(演習)
カモク メイ 科目名	セいかツシエンギジュツ 生活支援技術Ⅱ－Ⅰ	タン トウ 担 当	トガワ カヨコ 戸川 佳良子		
			カイゴフクシシ ジツムケイケン 介護福祉士としての実務経験		
ジュギョウガイヨウ 【授業の概要】 生活支援技術では、ＩＣＦの視点を生活支援に活かすことの意義を理解し、自立に向けた居住環境、移動、身支度、食事、 ニュウヨク セイケツホジ ハイ カジ キュウソク スイミン ジンセイ サイシュウダンカイ カイゴ フクシヨウグ イギ カツヨウ キソテキ チ 入浴・清潔保持、排せつ、家事、休息・睡眠、人生の最終段階における介護、福祉用具の意義と活用について基礎的な知 シキ ギジュツ マナ 識・技術を学ぶ					
ジュギョウトウトタマクヒョウ 【授業の到達目標】 介護福祉士は、支援が必要な利用者（高齢者、障がい者）に対して、自立（自律）した生活が送れるように、利用者個々の ジョウキョウ カイゴ オコナ センモンショク セいかツシエンギジュツ リョウシャ ソンゲン ヒト セいかツ オク カ 状況に合わせた介護を行う専門職]である。生活支援技術では、利用者が尊厳をもって、その人らしい生活を送るうえで、介 イゴショク シエン サイ ヒツヨウ カンガ カタ ギホウ シュウトク 護福祉士援助する際に必要となる技術習得する					
ジュギョウナイヨウ 【授業の内容】					
16	ニュウヨクカイゴ トクシュヨクソウ 入浴の介護 特殊浴槽①				
17	ニュウヨクカイゴ トクシュヨクソウ 入浴の介護 特殊浴槽②				
18	ハイセツ カイゴ コウカン 排泄の介護 オムツ交換①				
19	ハイセツ カイゴ コウカン 排泄の介護 オムツ交換②				
20	セイケツ カイゴ ブブンヨク 清潔の介護 部分浴				
21	セイケツ カイゴ ゼンシンセイシキ 清潔の介護 全身清拭				
22	キュウソクタイミン 休息・睡眠とは				
23	キュウソクタイミン カイゴ ジッサイ 休息・睡眠の介護の実際①				
24	キュウソクタイミン カイゴ ジッサイ 休息・睡眠の介護の実際②				
25	キュウソクタイミン カイゴ タショクシキョウドウ 休息・睡眠の介護と多職種協働				
26	サイシュウダンカイ カイゴ イギ ヤクワリ 最終段階における介護の意義と役割				
27	サイシュウダンカイ カイゴ ジッサイ 最終段階における介護の実際①				
28	サイシュウダンカイ カイゴ ジッサイ 最終段階における介護の実際②				
29	サイシュウダンカイ カイゴ ジッサイ 最終段階における介護の実際③				
30	コウキフ カエ コウキンケン タイサクカイセツ 後期振り返り 後期試験対策・解説				
【成績評価の方法と基準】 コウギ トリク シュッセギョウアイド テイシヅツナド テイキコウサ セイセキ ヒョウカ テンマンテン ヒョウカ ヒョウカテン テンイジョウ ゴウカク 講義への取組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 ヒョウテイ ヒョウカテン テンイジョウ テンイジョウ テンミマン テンイジョウ テンミマン テンミマン 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】 セいかツエン ギジュツ サイシンカイゴフクシシヨウセイコウザ ダイ カン チュウオウホウキシュツバン 『生活支援技術Ⅱ』＜最新・介護福祉士養成講座 第7巻＞ 中央法規出版					
サンコウショ 【参考書】					
ビ コウ 【備 考】					

シラバス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

キホン ジョウホウ 基本情報	ネン ゼンキ 1年(前期)	カイゴ 介護	ヒツシュウ 必修	タンイ ジカン 6単位90時間	ジュギョウウタイエンシユウ 授業形態(演習)
カモクメイ 科目名	セイカツエンギジュツ 生活支援技術ⅡーⅡ	タン トウ 担 当	アダチ トモカズ 安達 智一		
			カイゴ フクシン 介護福祉士としての実務経験		
ジュギョウウガイヨウ 【授業の概要】					
カレイ ショウガイ ニチジョウイカツ ケイゾク コンナン カタ タイ ソンゲン ホジ ジリツ シエン セイカツ ユタ カンテン ホンニンジュタイ セイカツ ケイゾク 加齢や障害により日常生活の継続が困難な方に対して、尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよ う、根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を取得する。					
ジュギョウウトウタツクヒョウ 【授業の到達目標】					
1. 自立(自律)を尊重した支援の在り方について理解する 2. 残存能力を活用した(潜在能力を引き出す)適切な介護技術と知識を習得する 3. 利用者、介護者両方にとって安全な介護技術と知識を習得する。					
ジュギョウウナイヨウ 【授業の内容】					
1	ジリツ イドウ イドウ イチレン ドウサ 自立した移動とは 移動の一連の動作				
2	ジリツ ム イドウ イジョウ イドウドウサ キ ソ リロン 自立に向けた移動・移乗 移動動作の基礎となる理論(ボディメカニクス)				
3	イドウ イジョウ カイジョ キホンテキ シテン 移動・移乗の介助における基本的な視点				
4	タイイ ヘンカン カイジョ ジョウホウイドウスイヘイドウ 体位変換の介助① 上方移動・水平移動				
5	タイイヘンカン カイジョ ギョウガイ ソクガイ タイメンホウハイメンホウ 体位変換の介助② 仰臥位から側臥位(対面法・背面法)				
6	ミジタク カイジョ ジョウ チャクダツカイジョ 身支度の介助①(ベッド上での着脱介助)				
7	ミジタク カイジョ ジョウ チャクダツカイジョ 身支度の介助②(ベッド上での着脱介助)				
8	タイイヘンカン カイジョ ソクガイ タンザイ ザイホジ カノウ リヨウシャ 体位変換の介助③ 側臥位から端座位(座位保持が可能な利用者)				
9	タイイヘンカン カイジョ ソクガイ タンザイ ザイホジ フアンテイ リヨウシャ 体位変換の介助④ 側臥位から端座位(座位保持が不安定な利用者)				
10	タイイヘンカン カイジョ タンザイ リツイ カイジョ 体位変換の介助⑤ 端座位から立位への介助				
11	ミジタク カイジョ ザインセイ チャクダツカイジョ 身支度の介助①(座位姿勢での着脱介助)				
12	ミジタク カイジョ ザインセイ チャクダツカイジョ 身支度の介助②(座位姿勢での着脱介助)				
13	ミジタク カイジョ ジョウ コウクウ 身支度の介助③(ベッド上での口腔ケア①)				
14	ミジタク カイジョ ジョウ コウクウ 身支度の介助④(ベッド上での口腔ケア②)				
15	ゼンキ フ カエ 前期振り返り				
セイセキヒョウカ ホウホウ キジュン 【成績評価の方法と基準】					
シヨツセギョコウアイド テイショツザツ 講義への取り組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とす る。					
【テキスト】					
セイカツエンギジュツ サイシン カイゴフクシンヨウセイヨウザ ダイ カン チュウオウホウキシツパン 『生活支援技術Ⅰ』 <最新・介護福祉士養成講座 第6巻> 中央法規出版 セイカツエンギジュツ サイシン カイゴフクシン ヨウセロウザ ダイ カン チュウオウホウキシツパン 『生活支援技術Ⅱ』 <最新・介護福祉士養成講座 第7巻> 中央法規出版					
サンコウシュ 【参考書】					
ビ コウ 【備 考】					

シ ラ バ ス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

キホン ジョウホク 基本情報		ネン コウキ 1年(後期)	カイゴ 介護	ヒツシュウ 必修	タンイ ジカン 6単位90時間	ジュギョウイタ在ンシュウ 授業形態(演習)
カモク メイ 科目名	セイカツエンギジュツ 生活支援技術ⅡーⅡ		タン トウ 担 当	アダチ トモカズ 安達 智一		
				カイゴ フクシニ ジツム ケイケン 介護福祉士としての実務経験		
ジュギョウガイヨウ 【授業の概要】						
カレイ ショウガイ ニチジョウカイカツケイゾク コンナン カタ タイ ソンゲン ホジ ジリツ シエン セイカツ ユタ カンテン ホンニンシュタイ セイカツ ケイゾク 加齢や障害により日常生活の継続が困難な方に対して、尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよ う、根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を取得する。						
ジュギョウトウタツクヒョウ 【授業の到達目標】						
1. 自立(自律)を尊重した支援の在り方について理解する 2. 残存能力を活用した(潜在能力を引き出す)適切な介護技術と知識を習得する 3. 利用者、介護者両方にとって安全な介護技術と知識を習得する。						
ジュギョウナイヨウ 【授業の内容】						
16	ジツギ シケン 実技試験について(前期振り返り)	ゼンキ フ カエ	31	ミジタク カイジョ ジョウ チャクダツカイジョ	身支度の介助(ベッド上での着脱介助)	
17	ジツギ シケン レンシュウ 実技試験練習①	チャクダカイジョ	32	ミジタク カイジョ ザ イ チャクダツカイジョ	身支度の介助(座位での着脱介助)	
18	ジツギ シケン レンシュウ 実技試験練習②	チャクダカイジョ	33	ミジタク カイジョ ジョウ チャクダツカイジョ シキネマキ	身支度の介助(ベッド上での着脱介助・和式寝間着)	
19	ジツギ シケン レンシュウ 実技試験練習③	ハイセツカイジョ	34	フクシヨウグ カツヨウ イジョウカイジョ	福祉用具を活用した移乗介助①(スライディングボード)	
20	ジツギ シケン レンシュウ 実技試験練習④	ハイセツカイジョ	35	フクシヨウグ カツヨウ イジョウカイジョ	福祉用具を活用した移乗介助②(リフト)	
21	ジツギ シケン レンシュウ 実技試験練習⑤	タイイヘンカン	36	イジョウ カイジョ クルマ クルマ イジョウ	移乗の介助(ベッドから車イス・車イスからベッドへの移乗)	
22	ジツギ シケン レンシュウ 実技試験練習⑥	タイイヘンカン	37	クルマ イドウ カイジョ ダンサゴ サカミチ	車イスでの移動介助① 段差越え・坂道	
23	ジツギ シケン レンシュウ 実技試験練習⑦	イジョウカイジョ	38	クルマ イドウ カイジョ フェイテ	車イスでの移動介助② 不整地	
24	ジツギ シケン レンシュウ 実技試験練習⑧	イジョウカイジョ	39	ホコウカイジョ ツエホコウ ドウサホコウ ドウサホコウ カイダン ノボ オ 階段の上り下り	歩行介助 杖歩行(3動作歩行・2動作歩行)	
25	ジツギ シケン レンシュウ 実技試験練習⑨	イドウ カイジョ	40	ニューヨクジ イドウカイジョ イジョウイドウ	入浴時の移動介助(ストレッチャーへの移乗・移動)	
26	ジツギ シケン 実技試験		41	ハイセツジ イドウ カイジョ クルマ (車イスからトイレ・ベッドからポータブルトイレ)	排泄時の移動の介助	
27	カイゴ ゲンバ カイゴギジュツ 介護現場の介護技術①		42	ミジタク カイジョ センガン カイジョ セイハツ カイジョ	身支度の介助(洗顔の介助・整髪 of 介助)	
28	カイゴ ゲンバ カイゴギジュツ 介護現場の介護技術②		43	ミジタク カイジョ ヒゲソ カイジョ ツメキ カイジョ	身支度の介助(髭剃りの介助・爪切り of 介助)	
29	カイゴ ゲンバ カイゴギジュツ 介護現場の介護技術③		44	ミジタク カイジョ キシツテキコウクウ キノウテキコウクウ	身支度の介助(器質的口腔ケア・機能的口腔ケア)	
30	カイゴ ゲンバ カイゴギジュツ 介護現場の介護技術④		45	まとめ		
セイセキヒョウ ホウホウ キジュン 【成績評価の方法と基準】						
講義への取組み(出席・受講態度、提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。						
【テキスト】						
セイカツエンギジュツ サイシンカイゴフクシシヨウセイコウザ ダイ カン チュウオウホウキシュツパン 『生活支援技術Ⅰ』 <最新・介護福祉士養成講座 第6巻> 中央法規出版 セイカツエンギジュツ サイシンカイゴフクシシヨウセイコウザ ダイ カン チュウオウホウキシュツパン 『生活支援技術Ⅱ』 <最新・介護福祉士養成講座 第7巻> 中央法規出版						
サンコウショ 【参考書】						
ビ コウ 【備 考】						

シラバス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

キホン ジョウホウ 基本情報		ネン コウキ 1年(後期)	カイゴ 介護	ヒツシュウ 必修	タンイ ジカン 4単位60時間	ジュギョウイタロウギ エンシュウ 授業形態(講義+演習)
カモク メイ 科目名	カイゴカテイ テンカイ 介護過程の展開Ⅰ		タン トウ 担 当	アダチ トモカズ 安達 智一		
				カイゴフクシン ジツムケイケン 介護福祉士としての実務経験		
ジュギョウガイヨウ 【授業の概要】 介護過程では、介護過程の意義・目的及び介護過程展開の一連のプロセスに関する基礎的理解、介護過程とチームアプローチ、コベツジレイ ツウ カイゴカテイ テンカイ ジッサイ カイゴソウゴウエンシュウ カイゴジツシュウ セイカツシエンギジュツトウホカ カモク レンドウ シヤ イ 個別事例を通じた介護過程の展開の実際について、介護総合演習や介護実習、生活支援技術等他の科目との連動を視野に入れ カイゴカテイ テンカイ ノウリョク ヤシナ 介護過程を円滑に実行できるようにする						
ジュギョウトウタモクヒョウ 【授業の到達目標】 タ カモク マナ イ コベツ グタイテキ ジツゲン ホウホウ ミ ツ カイゴカテイ ジュウヨウ カモク カイゴ 他の科目で学んだことを生かし、個別ケアを具体的に実現する方法を身に付けるために、介護過程は重要な科目である。介護過程Ⅰでは、個別ケアを実現するために必要な情報収集の方法を修得する。						
ジュギョウナイヨウ 【授業の内容】						
1	カイゴカテイ イ ギ モクテキ 介護過程の意義と目的			16	セイカツカダイ メイカクカ 生活課題の明確化	
2	カイゴカテイ ゼンタイゾウ 介護過程の全体像			17	カイゴケイカク リツアン 介護計画の立案とは	
3	カイゴカテイ 介護過程とICF			18	カイゴモクヒョウセツテイ チョウモクヒョウタンキ モクヒョウ 介護目標の設定 長期目標と短期目標	
4	セイカツシエン カイゴカテイ イ ギ 生活支援における介護過程の意義			19	グタイテキ シエン ナイヨウ シエンホウホウ 具体的な支援内容・支援方法①	
5	カイゴカテイ 介護過程とケアマネジメント①			20	グタイテキ シエン ナイヨウ シエンホウホウ 具体的な支援内容・支援方法②	
6	カイゴカテイ 介護過程とケアマネジメント②			21	ジッシン リュウイテン 実施の留意点	
7	ジョウホウ シュウシュモクテキ 情報収集の目的			22	ジッシン キロク 実施の記録	
8	ジョウホウシュウシュウデンゲンホウホウ リュウイテン 情報収集の視点・方法・留意点			23	ヒョウカ イ ギ モクテキ 評価の意義と目的	
9	ジョウホウシュウシュウツクサイジレイテンカイ 情報収集の実際 事例展開①			24	ヒョウカ ナイヨウ ホウホウ 評価の内容と方法	
10	ジョウホウシュウシュウツクサイジレイテンカイ 情報収集の実際 事例展開②			25	ジレイテンカイ ジョウホウシュウシ 事例展開① 情報収集	
11	シテン アセスメントの視点			26	ジレイテンカイ ジョウホウシュウシ 事例展開② 情報収集	
12	ホウホウ ジョウホウカイシャク アセスメントの方法① 情報の解釈			27	ジレイテンカイ ジョウホウシュウシ 事例展開③ 情報収集	
13	ホウホウ ジョウホウカンレンジ トウゴウ アセスメントの方法② 情報の関連付け・統合化			28	ジレイテンカイ 事例展開④ アセスメント	
14	ジッサイ ジレイテンカイ アセスメントの実際 事例展開①			29	ジレイテンカイ 事例展開⑤ アセスメント	
15	ジッサイ ジレイテンカイ アセスメントの実際 事例展開②			30	ゼンキ 前期のまとめ	
セイセキヒョウカ ホウホウ キジュン 【成績評価の方法と基準】 シュツセギョコウイデ ティシュツザダ 講義への取り組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D						
【テキスト】 カイゴカテイ サイン カイゴフクシンシヨウセイコウザ ダイ カン チュウオウホウキシツパン 『介護過程』＜最新・介護福祉士養成講座 第9巻＞ 中央法規出版						
サンコウショ 【参考書】						
ビ コウ 【備 考】						

シラバス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

キホン ジョウホウ 基本情報	ネン ゼンキ 1年(前期)	カイゴ 介護	ヒツシュウ 必修	タンイ ジカン 4単位60時間	ジュギョウウイタロウギ エンシュウ 授業形態(講義+演習)
カモク メイ 科目名	カイゴソウゴウエンシュウ 介護総合演習Ⅰ	タン トウ 担 当	アダチ トモカズ 安達 智一		
			カイゴフクシン ジツムケイケン 介護福祉士としての実務経験		
ジュギョウガイヨウ 【授業の概要】					
カイゴソウゴウエンシュウ カクリヨウイキ マナ テシキ ギジュツ トウゴウ カイゴ ジツセン カガクテキ タンキユウ トオ カイゴ ジツシュウ マナ シンカ 介護総合演習は、各領域で学ぶ知識と技術の統合、介護実践の科学的探究を通し、介護実習での学びを深化させ カイゴ センモンショク シコウ タイド ケイセイ ジコキョウイクリョクトウ ヤシナ ソウゴウテキ ガクシュウ るとともに、介護の専門職として思考や態度の形成、自己教育力等を養う総合的な学習 とする。					
ジュギョウトウタツクヒョウ 【授業の到達目標】					
ジツ ユウ キョウイサウカ ア カイゴジツシュウマエ カイゴギジュツ カクニン シセツ トウ ジツシュウゴ ホウコクカイ 実習の教育効果を上げるため、介護実習前の介護技術の確認や施設等のオリエンテーション、実習後の報告会な ジツシュウ ヒツヨウ テシキ ギジュツ ソウゴウテキ リカイ ど、実習に必要な知識や技術について、総合的に理解する。					
ジュギョウナイヨウ 【授業の内容】					
1	カイゴジツシュウ イギ モクテキ 介護実習の意義と目的	16	ジツシュウヒツヨウ キロタブツ 実習に必要な記録物②		
2	カイゴジツシュウ ナガ 介護実習の流れ	17	ジツシュウキロク 実習記録について		
3	カイゴジツシュウ シセツ ガイヨウ 介護実習の施設概要①	18	ジツシュウキロク ジツサイ 実習記録の実際①		
4	カイゴジツシュウ シセツガイヨウ 介護実習の施設概要②	19	ジツシュウキロク ジツサイ 実習記録の実際②		
5	ジツシュウホウコクカイ 実習報告会	20	ジツシュウカダイ 実習課題について		
6	ケンガクジツシュウワレイシギジタイケン 見学実習・高齢者疑似体験について	21	ジツシュウカダイ ジツサイ 実習課題の実際		
7	コウレイシギジタイケン 高齢者疑似体験①	22	カイゴ ジツシュウジツサイ 介護実習の実際①		
8	コウレイシギジタイケン 高齢者疑似体験②	23	カイゴジツシュウ ジツサイ 介護実習の実際②		
9	ケンガクジツシュウ 見学実習①	24	ジツシュウセイ キホンジコウ 実習生としての基本事項①		
10	ケンガクジツシュウ 見学実習②	25	ジツシュウセイ キホンジコウ 実習生としての基本事項②		
11	ダンカイジツシュウイギ モクテキ 1段階実習の意義と目的	26	ジツシュウシセツベツ 実習施設別オリエンテーション		
12	ダンカイジツシュウナイヨウ 1段階実習の内容	27	ホウモンカイゴジツシュウ 訪問介護実習オリエンテーション		
13	ホウモンカイゴジツシュウイギ モクテキ 訪問介護実習の意義と目的	28	ダンカイジツシュウカエ 1段階実習振り返り①		
14	ホウモンカイゴジツシュウナイヨウ 訪問介護実習の内容	29	ダンカイジツシュウカエ 1段階実習振り返り②		
15	ジツシュウヒツヨウ キロタブツ 実習に必要な記録物①	30	ヒョウカモウワタ 評価申し渡し		
セイセキヒョウカ ホウホウ キジュン 【成績評価の方法と基準】					
シュツセギョコウガイド ティシュツザザ 講義への取組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
カイゴソウゴウエンシュウカイゴジツシュウ サイシン カイゴフクシンヨウセイコウザ ダイ カン チュウオウホウキシュツパン 『介護総合演習・介護実習』 <最新・介護福祉士養成講座 第10巻> 中央法規出版					
サンコウショ 【参考書】					
ビ コウ 【備 考】					

シラバス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

キホン ジョウホウ 基本情報	ネン コウキ 1年(後期)	カイゴ 介護	ヒツシュウ 必修	タンイ ジカン 2単位30時間	ジュギョウカイトウギ エンシュウ 授業形態(講義+演習)
カモク メイ 科目名	カイゴソウゴウエンシュウ 介護総合演習Ⅱ	タン トウ 担 当	アダチ トモカズ 安達 智一		
			カイゴフクシシ ジツムケイケン 介護福祉士としての実務経験		
ジュギョウガイヨウ 【授業の概要】 カイゴソウゴウエンシュウ カクリョウイキ マナ チシキ ギジュツ トウゴウ カイゴ ジッセン カガクテキ タンキュウ トオ カイゴ ジッシュウ マナ シンカ 介護総合演習は、各領域で学ぶ知識と技術の統合、介護実践の科学的探究を通し、介護実習での学びを深化させるとともに、介護の専門職として思考や態度の形成、自己教育力等を養う総合的な学習 とする。					
ジュギョウトウタツクヒョウ 【授業の到達目標】 ジッシュウ キョウイクコウカ アゲ カイゴジッシュウマエ カイゴギジュツ カクニン シセツトウ ジッシュウゴ ジレイホウ 実習の教育効果を上げるため、介護実習前の介護技術の確認や施設等のオリエンテーション、実習後の事例報告会など、実習に必要な知識や技術、介護過程の展開の能力等について、総合的に理解する。					
ジュギョウナイヨウ 【授業の内容】					
1	ダンカイジッシュウイギ モクテキ 2段階実習の意義と目的				
2	ダンカイジッシュウカイヨウ 2段階実習内容①				
3	ダンカイジッシュウオウヨウ 2段階実習内容②				
4	ダンカイジッシュウツリガイヨウ 2段階実習施設概要①				
5	ダンカイジッシュウシセツガイヨウ 2段階実習施設概要②				
6	ジッシュウカダイ 実習課題について				
7	ジッシュウキロクブツ 実習の記録物について				
8	ジッシュウホウコクカイ 実習報告会について				
9	ジッシュウセツベツ 実習施設別オリエンテーション				
10	ジッシュウキコウビ 実習帰校日				
11	ダンカイジッシュウ カエ ヒョウキウ ワタ 2段階実習振り返り・評価申し渡し				
12	ジッシュウホウコクザインビ 実習報告会準備①				
13	ジッシュウホウコクザインビ 実習報告会準備②				
14	ジッシュウホウコクザインビ 実習報告会準備③				
15	ジッシュウホウコクザインビ 実習報告会準備④				
セイセキョウカ ホウホウ キジュン 【成績評価の方法と基準】 ジュッセギョウカイド テイショツザヤ 講義への取組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】 カイゴソウゴウエンシュウカイゴジッシュウ サインシカイゴフクシシヨウセイコウザ ダイ カン チュウオウホウキシュツパン 『介護総合演習・介護実習』＜最新・介護福祉士養成講座 第10巻＞ 中央法規出版					
サンコウショ 【参考書】					
ビ コウ 【備考】					

シラバス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

キホン ジョウホ 基本情報	ネン ゼンキ 1年(前期)	こころとからだのしくみ	ヒツシュウ 必修	タンイ ジカン 4単位60時間	ジュギョウケイカウギ 授業形態(講義)
カモク メイ 科目名	こころとからだのしくみⅠ	タン トウ 担 当	アベ ミエコ 安部 美恵子		
			カンゴシ ジツムケイケン 看護師としての実務経験		
ジュギョウガイヨウ 【授業の概要】 カイゴ ヒツヨウ ヒト リカイ フカ ニンゲン セイチョウハツタツ カンテン ヒト イッショウ リカイ カクキ ニュウヨウジキ ガクド 介護を必要とする人の理解を深めるため、人間の成長と 発達の観点から人の一生について理解する。ライフサイクル各期(乳幼児期、学童 ウ キ シンジュンキ セイネンキ セイジンキ ロウネンキ ハツ タチ フ カクダンカイ オウ セイカツシエン カタ マナ 期、思春期、青年期、成人期、老年期)における身体的・心理的・社会的特徴と発 達を踏まえ、各段階に応じた生活支援のあり方を学ぶ。ま た、発達の観点から老化 を理解し、老化に伴う身体的・心理的・社会的な変化や疾病と生活への影響など、生活を支援するための基礎的な チンキ マナ 知識を学ぶ。					
ジュギョウ トウタツモクヒョウ 【授業の到達目標】 カイゴジツツ コンキョ ジンタイ コウゾウ キノウヨビカイゴ テイキョウ アンゼン リュウイテン シンリテキソクメン ハイリョ リカイ 介護技術の根拠となる人体の構造や機能及び介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面への配慮について理解する					
ジュギョウナイヨウ 【授業の内容】					
1	ニンゲン ヨツキユウ 人間の欲求				
2	ジョジツゲン ソンゲン 自己実現と尊厳				
3	ココロ キソ 心のしくみの基礎				
4	ノウ 脳のしくみ				
5	ガクシュキオク シコウ 学習・記憶・思考のしくみ				
6	ニンチ テキオウ 認知・適応のしくみ				
7	ココロ キソ フ カエ 心のしくみの基礎 振り返り				
8	カラダ ブイ ヤクワリ サイボウデン ノウ シンケイ 体の部位の役割 細胞・遺伝・脳・神経				
9	カラダ ブイ ヤクワリコツカク 体の部位の役割 骨格				
10	カラダ ブイ ヤクワリカンカクキ 体の部位の役割 感覚器				
11	カラダ ブイ ヤクワリコキユウキ ショウカキ 体の部位の役割 呼吸器・消化器				
12	カラダ ブイ ヤクワリセイショクキナイブンビツ 体の部位の役割 生殖器・内分泌				
13	シンシン チョウワ コウジョウセイ 心身の調和・恒常性 □				
14	カラダ ブイ ヤクワリジュンカンキケツエキ クスリ チンキ 体の部位の役割 循環器・血液リンパ 薬の知識				
15	からだのしくみを理解する 振り返り				
セイセキヒョウカ ホウホウ キジュン 【成績評価の方法と基準】 コウギ ト ク シュッセギョウアイド テイシュツヅツ テイキコウサ セイセキ ヒョウカ 講義への取り組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格 とする。					
【テキスト】 『こころとからだのしくみ』 <サイシン カイゴフクシ シ ヨウセイウザ ダイ カン チュウオウホウキシュツパン 最新・介護福祉士養成講座 第11巻> 中央法規出版					
サンコウショ 【参考書】					
ビ コウ 【備 考】					

シ ラ バ ス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

キホン ジョウホ 基本情報	ネン コウキ 1年(後期)	こころとからだのしくみ	ヒツシュウ 必修	タンイ ジカン 4単位60時間	ジュギョウケイカウギ 授業形態(講義)
カモク メイ 科目名	こころとからだのしくみ I	タン トウ 担 当	アベ ミエコ 安部 美恵子		
			カンゴシ ジツム ケイケン 看護師としての実務経験		
ジュギョウガイヨウ 【授業の概要】					
カイゴ ヒツヨウ ヒト リカイ フカ ニンゲン セイチョウハツツウ カンテン ヒト イッショウ リカイ カクキ ニュウヨウジキ ガクド 介護を必要とする人の理解を深めるため、人間の成長と発達の観点から人の一生について理解する。ライフサイクル各期(乳幼児期、学童 ウ キ シンジュンキ セイネンキ セイジンキ ロウネンキ ハツ タチ フ カクダンカイ オウ セイカツシエン カタ マナ 期、思春期、青年期、成人期、老年期)における身体的・心理的・社会的特徴と発 達を踏まえ、各段階に応じた生活支援のあり方を学ぶ。ま た、発達の観点から老化 を理解し、老化に伴う身体的・心理的・社会的な変化や疾病と生活への影響など、生活を支援するための基礎的な ハツタツ カンテン ロウカ リカイ ロウカ トモナシンタイテキ・シンリテキ・シャカイテキンカ シツペイ セイカツ エイキョウ セイカツシエン キソテキ チンキ マナ 知識を学ぶ。					
【授業の到達目標】					
カイゴギジュツ コンキョ ジンタイ コウゾウ キノウ オヨ カイゴ テイキョウ アンゼン リュウイテン シンリテキソクメン ハイリョ リカイ 介護技術の根拠となる人体の構造や機能及び介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面への配慮について理解する					
ジュギョウナイヨウ 【授業の内容】					
16	イドウ 移動のしくみ				
17	シンシン キノウテイカ イドウ オヨ エイキョウ 心身の機能低下が移動に及ぼす影響①				
18	シンシン キノウテイカ イドウ オヨ エイキョウ 心身の機能低下が移動に及ぼす影響②				
19	シンシン キノウテイカ イドウ オヨ エイキョウ 心身の機能低下が移動に及ぼす影響③				
20	シンシン キノウテイカ イドウ オヨ エイキョウ 心身の機能低下が移動に及ぼす影響④				
21	ヘンカ キ タイオウ 変化の気づきと対応				
22	イドウ カンレン シク フ カエ 移動に関連した仕組み 振り返り				
23	ミジタク 身支度のしくみ				
24	シンシン キノウテイカ ミジタク オヨ エイキョウ 心身の機能低下が身支度に及ぼす影響①				
25	シンシン キノウテイカ ミジタク オヨ エイキョウ 心身の機能低下が身支度に及ぼす影響②				
26	シンシン キノウテイカ ミジタク オヨ エイキョウ 心身の機能低下が身支度に及ぼす影響③				
27	シンシン キノウテイカ ミジタク オヨ エイキョウ 心身の機能低下が身支度に及ぼす影響④				
28	シンシン キノウテイカ ミジタク オヨ エイキョウ 心身の機能低下が身支度に及ぼす影響⑤				
29	ヘンカ キ タイオウ 変化の気づきと対応				
30	ミジタク カンレン フ カエ 身支度に関連したしくみ 振り返り				
セイセキョウカ ホウホウ キジュン 【成績評価の方法と基準】					
コウギ ト ク シュツセギョコウアイド テイシュツザツ テイキコウサ セイセキ ヒョウカ 講義への取り組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格 とする。					
【テキスト】					
『こころとからだのしくみ』 <サイシン カイゴフクシン ヨウセロウザ ダイ カン チュウオウホウキシュッパン 最新・介護福祉士養成講座 第11巻> 中央法規出版					
サンコウショ 【参考書】					
ビ コウ 【備 考】					

シラバス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

キホン ジョウホ 基本情報	ネン ゼンキ 1年(前期)	こころとからだのしくみ	ヒツシュウ 必修	タンイ ジカン 4単位60時間	ジュギョウケイカウギ 授業形態(講義)
カモク メイ 科目名	こころとからだのしくみⅡ	タン トウ 担 当	アベ ミエコ 安部 美恵子		
			カンゴシ ジツム ケイケン 看護師としての実務経験		
ジュギョウガイヨウ 【授業の概要】					
カイゴ ヒツヨウ ヒト リカイ フカ ニンゲン セイチョウハツタツ カンテン ヒト イッショウ リカイ カクキ ニュウヨウジキ ガクド 介護を必要とする人の理解を深めるため、人間の成長と 発達の観点から人の一生について理解する。ライフサイクル各期(乳幼児期、学童 ウ キ シンジュンキ セイネンキ セイジンキ ロウネンキ ハツ タチ フ カクダンカイ オウ セイカツシエン カタ マナ 期、思春期、青年期、成人期、老年期)における身体的・心理的・社会的特徴と発 達を踏まえ、各段階に応じた生活支援のあり方を学ぶ。ま た、発達の観点から老化 を理解し、老化に伴う身体的・心理的・社会的な変化や疾病と生活への影響など、生活を支援するための基礎的な チンキ マナ 知識を学ぶ。					
ジュギョウトウタマクヒョウ 【授業の到達目標】					
カイゴギジュツ コンキョ ジンタイ コウゾウ キノウ オヨ カイゴ テイキョウ アンゼン リュウイテン シンリテキソクメン ハイリョ リカイ 介護技術の根拠となる人体の構造や機能及び介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面への配慮について理解する					
ジュギョウナイヨウ 【授業の内容】					
1	ショクジ 食事のしくみ				
2	シンシン キノウテイカ ショクジ オヨ エイキョウ 心身の機能低下が食事に及ぼす影響①				
3	シンシン キノウテイカ ショクジ オヨ エイキョウ 心身の機能低下が食事に及ぼす影響②				
4	シンシン キノウテイカ ショクジ オヨ エイキョウ 心身の機能低下が食事に及ぼす影響③				
5	シンシン キノウテイカ ショクジ オヨ エイキョウ 心身の機能低下が食事に及ぼす影響④				
6	ヘンカ キ タイオウ 変化の気づきと対応				
7	ショクジ カンレン シクミ ファンカエ 食事に関連した仕組み 振り返り				
8	ニュウヨクエイケツホジ 入浴・清潔保持のしくみ				
9	シンシン キノウテイカ ニュウヨクエイケツホジ オヨ エイキョウ 心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響①				
10	シンシン キノウテイカ ニュウヨクエイケツホジ オヨ エイキョウ 心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響②				
11	シンシン キノウテイカ ニュウヨクエイケツホジ オヨ エイキョウ 心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響③				
12	シンシン キノウテイカ ニュウヨクエイケツホジ オヨ エイキョウ 心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響④				
13	シンシン キノウテイカ ニュウヨクエイケツホジ オヨ エイキョウ 心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響⑤				
14	ヘンカ キ タイオウ 変化の気づきと対応				
15	ニュウヨク・セイケツホジ カンレン シク フ カエ 入浴・清潔保持に関連した仕組み 振り返り				
セイセキョウカ ホウホウ キジュン 【成績評価の方法と基準】					
コウギ ト ク シュッセギョコウアイド テイシュツザツ テイキコウサ セイセキ ヒョウカ 講義への取り組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格 とする。					
【テキスト】					
『こころとからだのしくみ』 <サイシン カイゴフクシン ヨウセロウザ ダイ カン チュウオウホウキシュツパン 最新・介護福祉士養成講座 第11巻> 中央法規出版					
サンコウショ 【参考書】					
ビ コウ 【備 考】					

シラバス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

キホン ジョウホ 基本情報	ネン コウキ 1年(後期)	こころとからだのしくみ	ヒツシュウ 必修	タンイ ジカン 4単位60時間	ジュギョウケイカウギ 授業形態(講義)
カモク メイ 科目名	こころとからだのしくみⅡ	タン トウ 担 当	アベ ミエコ 安部 美恵子		
			カンゴシ ジツム ケイケン 看護師としての実務経験		
ジュギョウガイヨウ 【授業の概要】					
カイゴ ヒツヨウ ヒト リカイ フカ ニンゲン セイチョウハツタツ カンテン ヒト イッショウ リカイ カクキ ニュウヨウジキ ガクド 介護を必要とする人の理解を深めるため、人間の成長と発達の観点から人の一生について理解する。ライフサイクル各期(乳幼児期、学童 ウ キ シンジュンキ セイネンキ セイジンキ ロウネンキ ハツ タチ フ カクダンカイ オウ セイカツシエン カタ マナ 期、思春期、青年期、成人期、老年期)における身体的・心理的・社会的特徴と発 達を踏まえ、各段階に応じた生活支援のあり方を学ぶ。ま た、発達の観点から老化 を理解し、老化に伴う身体的・心理的・社会的な変化や疾病と生活への影響など、生活を支援するための基礎的な ハツタツ カンテン ロウカ リカイ ロウカ トモナシンタイテキ・シンリテキ・シャカイテキンカ シツペイ セイカツ エイキョウ セイカツシエン キンテキ チンキ マナ 知識を学ぶ。					
ジュギョウトウタマクヒョウ 【授業の到達目標】					
カイゴジジュツ コンキョ ジンタイ コウゾウ キノウオヨ カイゴ テイキョウ アンゼン リュウイテン シンリテキソクメン ハイリョ リカイ 介護技術の根拠となる人体の構造や機能及び介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面への配慮について理解する					
ジュギョウナイヨウ 【授業の内容】					
16	ハイセツ 排泄のしくみ				
17	シンシン キノウテイカ ハイセツニ オヨ エイキョウ 心身の機能低下が排泄に及ぼす影響①				
18	シンシン キノウテイカ ハイセツニ オヨ エイキョウ 心身の機能低下が排泄に及ぼす影響②				
19	ヘンカ キ タイオウ 変化の気づきと対応				
20	ハイセツ カンレン シク フ カエ 排泄に関連した仕組み 振り返り				
21	スイミン 睡眠のしくみ				
22	シンシン キノウテイカ スイミン オヨ エイキョウ 心身の機能低下が睡眠に及ぼす影響①				
23	シンシン キノウテイカ スイミン オヨ エイキョウ 心身の機能低下が睡眠に及ぼす影響②				
24	ヘンカ キ タイオウ 変化の気づきと対応				
25	スイミン カンレン シク フ カエ 睡眠に関連した仕組み 振り返り				
26	シ リカイ 死を理解する				
27	シ タイ リカイ 死に対するこころの理解				
28	シュウマツキ キトクジョウタイシゴ リカイ 終末期から危篤状態、死後のからだの理解				
29	シュウマツキ イリョウョク レンケイ 終末期における医療職との連携				
30	シ ヒト カンレン シク フ カエ 死にゆく人に関連した仕組み 振り返り				
セイセキョウカ ホウホウ キジュン 【成績評価の方法と基準】					
コウギ ト ク シュッセギョコウイド テイシュツザツ テイキコウサ セイセキ ヒョウカ 講義への取り組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格 とする。					
【テキスト】					
『こころとからだのしくみ』 <サイシン カイゴフクシン ヨウセロウザ ダイ カン チュウオウホウキシュツパン 最新・介護福祉士養成講座 第11巻> 中央法規出版					
サンコウショ 【参考書】					
ビ コウ 【備 考】					

基本情報	ねん ぜんき 1年(前期)	きょうよう 教養	ひっしゅう 必修	たんい じかん 4単位60時間	じゅぎょうたい 授業形態(講義)
かちめい 科目名	きょうようこくご 教養国語	たん とう 担 当	とみなり ひろまさ 富成 碩甫		
【授業の概要】 ぶんしょう こうせい よ か しゅたい よ ぶんしょう か かた まな じっしゅうろく かいご きろく ようしきもち じっせんてき きろく 文章の構成について、読む・書くを主体に、読みやすい文章の書き方を学ぶ。実習記録や介護記録の様式を用い、実践的な記録の ほうほう まな 方法について学ぶ。					
【授業の到達目標】 ぶんしよつば と さしゅつ み つ ・文章を読み解く技術を身に付ける。 ぶんしよつか ぎじゅつ み つ ・文章を書くための技術を身に付ける。 じつようてきこくごりよくみ つ ・実用的な国語力を身に付ける。 ごいりよく み つ ・語彙力を身に付ける。					
【授業の内容】					
1	か ぎじゅつ 書く技術①②				
2	ぶんしょうか きほん 文章を書くことの基本①②				
3	ぶんしょう ぶんしょう ようご かんじ 文章を書くことの基本③ 用語漢字①				
4	つた ぶんしょうか 伝わる文章を書くルール①②				
5	つた ぶんしょうか じ さくぶん 伝わる文章を書くルール③ 400字作文				
6	つた ぶんしょうか じ さくぶ せいしよ 伝わる文章を書くルール④ 400字作文清書				
7	みなお ぶんしょう ようご かんじ 見直しをすれば文章はもっとよくなる①② 用語漢字②				
8	ようご かんじ きほん かんじ か と 用語漢字③ 基本漢字100「書き取り」				
9	きほん かんじ よ せい かく ひょうげん 基本漢字「読み」 わかりやすく正確に表現する				
10	じっせん もんだい ようご かんじ 実践問題 用語漢字④				
11	こよみ ほう 暦法				
12	じっしゅう きろく か かた かいご ひやくにん いっしゅ 実習記録の書き方について 介護百人一首				
13	かいご きろく かいご ひやくにん いっしゅ 介護記録について 介護百人一首				
14	じっしゅう はんせい ぶん れんしゅう かいご ひやくにん いっしゅ 実習の反省文の練習① 介護百人一首				
15	じっしゅう はんせい ぶん れんしゅう 実習の反省文の練習②				
【成績評価の方法と基準】 せいせい ぎょうか ほうほう きじゅん 講義への取組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】 オリジナルプリント					
【参考書】					
【備 考】					

シ ラ バ ス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

基本情報	ねん こうき 1年(後期)	きょうよう 教養	ひつしゅう 必修	たんに じかん 4単位60時間	じゅぎょうたい 授業形態(講義)
かもく めい 科目名	きょうようこくご 教養国語	たん とう 担 当	とみなり ひろまさ 富成 碩甫		
【授業の概要】					
ぶんしょう こうせい よ か しゅたい よ ぶんしょう か かた まな じっしゅあろく かいご きろく ようしき もち じっせんてき きろく 文章の構成について、読む・書くを主体に、読みやすい文章の書き方を学ぶ。実習記録や介護記録の様式を用い、実践的な記録 ほうほう まな の方法について学ぶ。					
【授業の到達目標】					
・文章を読み解く技術を身に付ける。 ぶんしょう か ぎじゅつ み つ ・文章を書くための技術を身に付ける。 じつようてきこくごりよく み つ ・実用的な国語力を身に付ける。 ごいりよく み つ 読解力を身に付ける					
【授業の内容】					
16	か み ぶんしょうとどの かた 「書くこと」を見つける 文章の整え方①				
17	ぶんしょうとどの かた 文章の整え方②				
18	ぶんしょうとどの かた 文章の整え方③				
19	ぶんしょうとどの かた 文章の整え方④				
20	ぶんしょうとどの かた 文章の整え方⑤				
21	けいご つか かた 敬語の使い方①				
22	けいご つか かた けいご どうし ようごかんじ 敬語の使い方② 敬語動詞 用語漢字				
23	けいご どうし けいご もんだい 敬語動詞 敬語問題				
24	てがみ か かた ふうしよ 手紙の書き方 封書				
25	てがみ か かた びんせん 手紙の書き方 便箋				
26	りれきしよ か かた しけんたいさくさくぶんかいごふくしし ひつよう 履歴書の書き方 試験対策作文「介護福祉士に必要なこと」				
27	ごよみほう しけんたいさくさくぶんかいごふくしし 暦法について 試験対策作文練習				
28	ようご かんじ しけんたいさくさくぶんかいごふくしし 用語漢字 試験対策作文練習				
29	ようご かんじ しけんたいさくさくぶんかいごふくしし 用語漢字 試験対策作文練習				
30	ようご かんじ しけんたいさくさくぶんかいごふくしし 用語漢字 試験対策作文練習				
【成績評価の方法と基準】					
せいせきようか ほうほう きじゅん シュッセギョコウアイド テイシュツザツ 講義への取組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
オリジナルプリント					
【参考書】					
【備 考】					

シ ラ バ ス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

基本情報	ねん ぜんき 2年(前期)	きょうよう 教養	ひっしゅう 必修	たんい じかん 2単位30時間	じゅぎょうたい 授業形態(講義)
科目名	きょうようこくご 教養国語	たん とう 担当	とみなり ひろまさ 富成 碩甫		
【授業の概要】 ぶんしょう こうせい 文章の構成について、読む・書くを主体に、読みやすい文章の書き方を学ぶ。 じっしゅうきろく かいごきろく ようしき もち じっせんてき きろく ほうほう まな 実習記録や介護記録の様式を用い、実践的な記録の方法について学ぶ。					
【授業の到達目標】 かいごきろく か かた ・介護記録の書き方 よ かた の読み方 かいごきろく い かた ・介護記録の活かし方					
【授業の内容】					
1	かいごきろく か かた じじつ めいかく か 介護記録の書き方「事実を明確に書く」				
2	かいごきろく か かた けいご つか かた 介護記録の書き方「敬語の使い方」				
3	かいごきろく か かた 介護記録の書き方「よりよいケアのための書く」				
4	かいごきろく か かた そんげん たいせつ してん 介護記録の書き方「尊厳を大切にする視点」①				
5	かいごきろく か かた そんげん たいせつ してん 介護記録の書き方「尊厳を大切にする視点」②				
6	かいごきろく か かた 介護記録の書き方「プライバシー」				
7	かいごきろく か かた 介護記録の書き方 ヒヤリハット 「転倒」				
8	かいごきろく か かた とくへん 介護記録の書き方「特変なし」				
9	かいごきろく か かた 5W1Hで書く 総合問題				
10	なに 「何を どうしたら どうなった」で書く 総合問題				
11	かいごきろく りようしゃさま じょうほう 介護記録「利用者様の情報」				
12	かいごきろく いりようてき 介護記録「医療的ケア」				
13	かいごきろく にんちしょう かいご ひやくにん いっしゅ 介護記録「認知症ケア」① 介護百人一首				
14	かいごきろく にんちしょう かいご ひやくにん いっしゅ 介護記録「認知症ケア」② 介護百人一首				
15	かいごきろく か 介護記録を書く				
【成績評価の方法と基準】 しゅつせぎョコウアイド テイシュツザギ 講義への取組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】 オリジナルプリント					
【参考書】					
【備考】					

シラバス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

キホン ジョウホ 基本情報	ネン ゼンキ 2年(前期)	ニンゲン シャカイ 人間と社会	ヒツシュウ 必修	タンイ ジカン 4単位60時間	ジュギ カグタイ 授業形態(講義)
カモク メイ 科目名	ニンゲンリカイ 人間の理解Ⅱ ニンゲンカンケイ (人間関係とコミュニケーション)	タン トウ 担 当	ササキ スミコ 佐々木 寿美子		
			キョウイクシ 教育学修士	カンゴシ 看護師としての実務経験	ジツムケイケン
ジュギョウガイヨウ 【授業の概要】					
1 対人援助に必要な人間の関係性を理解し、関係形成に必要なコミュニケーションの基礎的な知識を習得する学習とする。					
2 介護の質を高めるために必要な、チームマネジメントの基礎的な知識を理解し、チームで働くための能力を養う学習とする。					
ジュギョウトウタツクヒョウ 【授業の到達目標】					
1 人間関係を形成するために必要な心理学的支援を踏まえたコミュニケーションの意義と機能を理解する。					
2 介護実践をマネジメントするために必要な組織の運営管理、人材育成や活用といった人材管理を理解する。					
3 組織の運営管理や人材育成に必要なリーダーシップやフォロワーシップ等、チーム運営の基本を理解する。					
ジュギョウウナイヨウ 【授業の内容】					
1	オリエンテーション 人類の進化と人間らしさ				
2	自分と他者の理解				
3	人間関係の形成とその人らしさの尊重				
4	発達心理学からみた人間関係				
5	社会心理学からみた人間関係				
6	ストレスを考える				
7	対人関係におけるコミュニケーション① その概念と基本構造				
8	対人関係におけるコミュニケーション② 言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション				
9	人間関係とコミュニケーション				
10	対人援助における基本的態度				
11	バイスティックの7原則から学ぶ援助的人間関係の形成				
12	組織とコミュニケーション				
13	コミュニケーションと学習について				
14	前期全体を通しての小テストと前期定期試験にむけて				
15	ふり返りとまとめ				
セイセキョウカ ホウホウ キジュン 【成績評価の方法と基準】					
講義への取り組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
『人間の理解』＜最新・介護福祉士養成講座 第1巻＞ 中央法規出版					
サンコウショ 【参考書】					
ビ コウ 【備 考】					

シ ラ バ ス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

基本情報	ネン コウキ 2年(後期)	ニンゲン シャカイ 人間と社会	ヒツシュウ 必修	タンイ ジカン 4単位60時間	ジュギ オウタイ 授業形態(講義)
科目名	人間の理解Ⅱ (人間関係とコミュニケーション)	タン トウ 担 当	ササキ スミコ 佐々木 寿美子		
			キョウイクシ オウダシ カンゴシ ジツムケイケン 教育学修士 看護師としての実務経験		
ジュギョウガイヨウ 【授業の概要】					
1 タイジンエンジキオツヨウ ニンゲン カンケイセイリカイ カンケイダイセイ ヒツヨウ キソテキ チシキ シュウトク ガクシュウ 対人援助に必要な人間の関係性を理解し、関係形成に必要なコミュニケーションの基礎的な知識を習得する学習とする。					
2 カイゴ シツ タカ ヒツヨウ キソテキ チシキ リカイ ハタラ ノウリョクオシナガクシュウ 介護の質を高めるために必要な、チームマネジメントの基礎的な知識を理解し、チームで働くための能力を養う学習とする。					
ジュギョウトウタツクヒョウ 【授業の到達目標】					
1 ニンゲンカンケイセイ ヒツヨウ シンリガクテキエン フ イギ キノウ リカイ 人間関係を形成するために必要な心理学的支援を踏まえたコミュニケーションの意義や機能を理解する。					
2 カイゴジッセン ヒツヨウ ソシキ ウンエイカンリジンザイイタセオツヨウ ジンザイカンリ リカイ 介護実践をマネジメントするために必要な組織の運営管理、人材育成や活用といった人材管理を理解する。					
3 ソシキ ウンエイカンリ ジンザイイクセオツヨウ トウ ウンエイ キホン リカイ 組織の運営管理や人材育成に必要なリーダーシップやフォロワーシップ等、チーム運営の基本を理解する。					
ジュギョウウナイヨウ 【授業の内容】					
16	カイゴ トクセイ 介護サービスの特性				
17	カイゴ ゲンバ モト 介護現場で求められるチームマネジメント				
18	ジンザイイクセイ チームマネジメントと人材育成				
19	テンカイ ケアを展開するためのチームマネジメント				
20	シセツ ザイタク 施設ケアにおけるチームマネジメントと在宅ケアにおけるチームマネジメントを	カンガ			
21	リーダーシップとフォロワーシップについて				
22	カイゴフクシシヨク モト ジッセンリョク 介護福祉職のキャリアと求められる実践力				
23	カイゴフクシシヨク 介護福祉職としてのキャリアデザインを描く①	エガ ジョ レキシ フ カエ	自己の歴史を振り返る		
24	カイゴフクシシヨク 介護福祉職としてのキャリアデザインを描く②	エガ ゼンコク カツヤク カイゴフクシ	全国で活躍する介護福祉士たち		
25	カイゴフクシシヨク シエン カイハツ 介護福祉職のキャリア支援・開発【OJTとOFF-JT スーパービジョン】				
26	センモンシヨクオウタイ ジッセン ケンシオウケイ 専門職団体が実践する研修体系について				
27	カイゴ ササ ソシキ 介護サービスを支える組織について①	ウンエイホウシンリネン カンガ	運営方針・理念を考えよう		
28	カイゴ ササ ソシキ 介護サービスを支える組織について②	ソシキ コウゾウ ジギョウケイカク	組織の構造と事業計画		
29	ゼンキゼンタイ トオ ショウ コウキ テイキ シケン 前期全体を通しての小テストと後期定期試験にむけて				
30	カエ ふり返りとまとめ				
セイセキョウカ ホウホウ キジュン 【成績評価の方法と基準】					
コウギ ト ク シュッセギョコウオウダイ テイシュツザル テイキコウサ セイセキ 講義への取り組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
ニンゲン リカイ サイシンカイゴフクシシヨウセイコウザ ダイ カン チュウオウホウキョウパン 『人間の理解』＜最新・介護福祉士養成講座 第1巻＞ 中央法規出版					
サンコウショ 【参考書】					
ビ コウ 【備 考】					

シ ラ バ ス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

きほん じょうほう 基本情報	ねん ぜんき 2年(前期)	にんげん しゃかい 人間と社会	ひっしゅう 必修	たんい じかん 4単位60時間	じゅぎょうたい 授業形態(講義)
かちめい 科目名	にんげん りかい 人間の理解Ⅲ (人間関係とコミュニケーション・手話)	たん どう 担 当	やない ようこ 柳井 洋子		
【授業の概要】					
にんげんかんけい 人間関係とコミュニケーションの基礎では、自己理解、他者理解をもとに対人関係とコミュニケーションについて理解する。また、コミュニケーションの技法の基礎を学び、組織におけるコミュニケーションについて理解する。 チームマネジメントでは、ヒューマン					
かいご とくちょう ふ うんえい きほん じんざいいくせい かんりほう きそ まな					
【授業の到達目標】					
ちょうかくしとめだいいりかい かいけつ おと せかい き ひと くる ふべん しゃかいふくし なか かんが ・聴覚障害者問題の理解と解決のために音のない世界、聞こえない人たちの苦しみ、不便さを社会福祉の中で考えることができる					
き しゅわ かんたん にちじょうかいわ ・聞こえない人と手話で簡単な日常会話ができる。					
ちょうかくしとめがい りかい ちめう しょうがいしめゆわ れきし げんじょうかだい し ・聴覚障害者について理解する。 ・超買う障害者や手話について、その歴史、現状、課題を知ることができる。					
じゅぎょうないよう 【授業の内容】					
1	しゅわ きそ じこしょうかい 手話の基礎 自己紹介				
2	しゅわ 手話によるコミュニケーション① 伝え合う				
3	しゅわ 手話によるコミュニケーション② 伝え合う				
4	しゅわ 手話によるコミュニケーション③ 単語				
5	しゅわ 手話によるコミュニケーション④ 会話 指文字				
6	しゅわ 手話によるコミュニケーション⑤ 手話の読み取り				
7	しゅわ 手話によるコミュニケーション⑥ 困ること① パーの形の手話				
8	しゅわ 手話によるコミュニケーション⑦ 困ること②③ グーの形の手話				
9	しゅわ 手話によるコミュニケーション⑧ 困ること④⑤ 指さしの形の手話				
10	しゅわ 手話によるコミュニケーション⑨ 困ること⑥ 「手話言語条例について」				
11	しゅわ 手話によるコミュニケーション⑩ 視覚言語としての手話の使い分け				
12	しゅわ 手話によるコミュニケーション⑪ 困ること⑦ 疑問文 「難聴のしくみ」				
13	きもち しゅわ さいがいのとき こま 気持ちの手話 災害の時に困ること				
14	ひょうげん じこしょうかい しつもん 表現テスト 自己紹介と質問				
15	ひょうげん たんご ふくしゅう 表現テスト 単語の復習				
せいせきしょうか ほうほう きじゆん 【成績評価の方法と基準】					
こうぎ とりくみ しゅつせぎやうきいど ていしゆつぎやう ていきこうさ せいせき ひょうか てんまんてん ひょうか ひょうかてん てんいじょう どうかく 講義への取組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。					
【テキスト】					
しゅわ ぜんこくしゅわけんしゅう 『ハジメテ手話テキスト』 全国手話研修センター					
てび おおいたちやうけんやう きやうかい 『ボランティアの手引き』 大分県聴覚障がい協会					
【参考書】					
【備 考】					

智泉福祉製菓専門学校

智泉福祉製菓専門学校

基本情報	ねん こうき 2年(後期)	にんげん しゃかい 人間と社会	ひっしゅう 必修	たんい じかん 4単位60時間	じゅぎょうたい 授業形態(講義)
かもく めい 科目名	にんげん りかい 人間の理解Ⅲ (にんげんかんけい 人間関係とコミュニケーション・手話)	たん とう 担 当	やない ようこ 柳井 洋子		
【授業の概要】					
にんげんかんけい きそ じこりかい たしやりかい たいじんかんけい りかい 人間関係とコミュニケーションの基礎では、自己理解、他者理解をもとに対人関係とコミュ ニケーションについて理解する。また、 コミュニケーションの技法の基礎を学び、組織におけるコミュニケー ションについて理解する。 チームマネジメントでは、ヒューマ かいづ とくちょう ふ うんえい きほん じんぎいいくせい かんりほう きそ まな 【授業の到達目標】					
ちょうかくしは かがだい りかい かいけつ おと せかい き ひと くる ふべん しゃかいふくし なか かんが ・聴覚障害者問題の理解と解決のために音のない世界、聞こえない人たちの苦しみ、不便さを社会福祉の中で考えることができる。 き しゅわ かんたん にちじょうかいわ ・聞こえない人と手話で簡単な日常会話ができる。 ちょうかくしは ちがいがい りかい ち ちがう しょうがいしゅわ れきし げんじょう だい し ・聴覚障害者について理解する。 ・超買う障害者や手話について、その歴史、現状、課題を知ることができる。					
じゅぎょうないよう 【授業の内容】					
16	しゅわ 手話によるコミュニケーション①	とどうふけん しゅわ 都道府県の手話①			
17	しゅわ 手話によるコミュニケーション②	とどうふけん しゅわ 都道府県の手話②			
18	しゅわ 手話によるコミュニケーション③	しゅわ ひょうじょう わたしことり すず 手話の表情①「私と小鳥と鈴と」			
19	しゅわ 手話によるコミュニケーション④	しゅわ ひょうじょう わたしことり すず 手話の表情②「私と小鳥と鈴と」	うなずき		
20	しゅわ 手話によるコミュニケーション⑤	たんご かいわ げんざい かこ みらい 単語と会話 現在・過去・未来			
21	CL① え 絵しりとり				
22	CL② こま レストランで困ること				
23	CL③ こま ショッピングで困ること				
24	かいわれんしゅう しゅわ CL④ 会話練習 手話コース				
25	こうりゅうかいれんしゅう 交流会の練習				
26	CL⑤ どうし めいし 動詞と名詞				
27	たんぶんれんしゅう 短文練習①				
28	たんぶんれんしゅう 短文練習②				
29	たんぶんれんしゅう 短文練習③				
30	たんご ふくしゅ たんぶん 単語復習 短文テスト				
【成績評価の方法と基準】					
こうぎ とりくみ しゅっせき けいど ていしほつなど ていきこうさ せいせき ひょうか てんまんてん ひょうか ひょうかてん てんいじょう ごうかく 講義への取り組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格と する。					
【テキスト】					
『ハジメテノ手話テキスト』 ぜんこくしゅわけんしゅう 全国手話研修センター 『ボランティアの手引き』 てび おおいたけちよう せうかい 大分県聴覚障がい協会					
【参考書】					
【備 考】					

シ ラ バ ス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

基本情報	ねん ぜんき 2年(前期)	にんげん しゃかい 人間と社会	必修	たんい じかん 4単位60時間	授業形態(講義)
科目名	にんげん りかい 人間の理解Ⅳ (人間関係とコミュニケーション・点字)	たん どう 担 当	たなか ゆうこ 田中 祐子		
【授業の概要】 人間関係とコミュニケーションの基礎では、自己理解、他者理解をもとに対人関係とコミュニケーションについて理解する。また、コミュニケーションの技法の基礎を学び、組織におけるコミュニケーションについて理解する。 チームマネジメントでは、ヒューマンセ・ピスとしての会議セ・ピスの特徴を、聴き手・通訳の基本や人材育成の管理士の基礎を学ぶ。					
【授業の到達目標】 ・ 視覚障害者の日常生活・心理等について知識理解を深める。 ・ 視覚障害者のコミュニケーション、特に点字について理解し技能を習得することができる。 ・ 点字器による点訳書制作やパソコンを活用した点訳書制作ができる。					
【授業の内容】					
1	てんじ しく 点字の仕組み	ごじゅうおん よ かた 五十音の読み方	てんじ き つか かた 点字器の使い方		
2	てんじ う とき 点字を打つ時のポイント				
3	だくおん はんだくおんようおん 濁音・半濁音・拗音	2マスでつくる字			
4	だくおん はんだくおんようおん とくし ぶん かい 濁音・半濁音・拗音・特殊音の入った語句の点訳・墨訳				
5	てんじ ひょうき かなづか 点字の表記 仮名遣い	「う」の表し方			
6	てんじ ひょうき かなづか 点字の表記 仮名遣い	がいらいご そくおん ぶん よ 外来語 促音 文の読み			
7	かなづか 仮名遣いまとめ	なまえ てんじ すうじ あらわかた 名前を点字で 数字の表し方			
8	すうじ あらわかた かず、 つか 数字の表し方 数符を使うとき	カナを使うとき			
9	かず、 つか ぶん てんやくすみやく 数符を使った文の点訳・墨訳				
10	ぶんせつ か 分節分かち書き				
11	しかくしょう しゃ じょうきよう 視覚障がい者の状況				
12	てんじ てがみ か 点字で手紙を書く				
13	アルファベットの表し方	りやくご えいたんご えいぶん 略語と英単語 英文のちがひ			
14	アルファベット表し方	よ 読み			
15	すうじ 数字・アルファベットの注意	ちゅうい			
【成績評価の方法と基準】 講義への取組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。					
【テキスト】 『初めての点訳』 全国視覚障がい者情報提供施設協会					
【参考書】					
【備考】					

シ ラ バ ス

れいわ ねんど
令和6年度

ちせんふくしせいかせんもんがっこう
智泉福祉製菓専門学校

きほん じょうほう 基本情報	ねん こうき 2年(後期)	にんげん しゃかい 人間と社会	ひつしゅう 必修	たんい じかん 4単位60時間	じゅぎょうたい 授業形態(講義)
かもち めい 科目名	にんげん りかい 人間の理解Ⅳ (にんげんかんけい 人間関係とコミュニケーション・点字)	たん とう 担 当	たなか ゆうこ 田中 祐子		
じゅぎょうがいよう 【授業の概要】 人間関係とコミュニケーションの基礎では、自己理解、他者理解をもとに対人関係とコミュニケーションについて理解する。また、コミュニケーションの技法の基礎を学び、組織におけるコミュニケーションについて理解する。 チームマネジメントでは、ヒューマン・サービスとしての介護サービスの特徴を踏まえ、チーム運営の基本や人材育成の管理法の基礎を学ぶ。					
じゅぎょうとうたつくひょう 【授業の到達目標】 ・視覚障害者の日常生活・心理等について知識理解を深める。 ・視覚障害者のコミュニケーション、特に点字について理解し技能を習得することができる。 ・点字器による点訳書製作やパソコンを活用した点訳書製作ができる。					
じゅぎょうないよう 【授業の内容】					
16	わ が 分かち書き	ほじょ どうし 補助動詞			
17	わ が 分かち書き	ほじょ どうし 補助動詞	れんたいし 連体詞	ふくし 副詞	ふくごうご 複合語
18	わ が 分かち書き	ふくごうご 複合語	こゆうめいし 固有名詞		
19	わ が 分かち書き	こゆうめいし 固有名詞	きごうるい 記号類	くてん 句点	とうてん 読点
20	きごう るい 記号類	(カッコ・カギ・棒線・点線)			
21	てんやゑほん さくせい 点訳絵本作成	オリエンテーション	えほんてんやく 絵本点訳	(1)	
22	えほんてんやく 絵本点訳	(2)			
23	えほんてんやく 絵本点訳	(3)			
24	てんやく パソコン点訳	(1)	てんにゅうりよく 6点入力		
25	てんやく パソコン点訳	(2)	ことば ぶん 言葉・文の入力		
26	てんやく パソコン点訳	(3)	きごう ぶん 記号・文の入力	にゅうりよく 入力方法	
27	てんやく パソコン点訳	(4)	えほん さくせい 絵本作製		
28	てんやく パソコン点訳	(5)	えほん さくせい 絵本作製		
29	てんやく パソコン点訳	(6)	えほん こうせい 絵本校正	しあ 仕上げ	
30	てんやく 点訳まとめ				
せいせきひょうか ほうほう きじゆん 【成績評価の方法と基準】 講義への取組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 ひょううてい ひょううかてん てんいじょう てんいじょう てんみまん てんいじょう てんみまん てんみまん					
【テキスト】 はじ てんやく ぜんこくかく しょう しゃじょうほふくしせい きょうかい 『初めての点訳』 全国視覚障がい者情報提供施設協会					
【参考書】					
【備 考】					

シラバス

れいわ ねんど
令和6年度ちせんふくしせいかせんもんがっこう
智泉福祉製菓専門学校

基本情報	ねん ぜんき 2年(前期)	にんげん しゃかい 人間と社会	必修	たんい じかん 2単位30時間	じゅぎょう けいたい(講義) 授業形態(講義)
科目名	しゃかい しかい 社会の理解Ⅱ	たん とう 担 当	しみず あきひこ 清水 明彦		
			かいご ふくしし じつむ けいけん 介護福祉士としての実務経験		
【授業の概要】					
かいご かん きんねん しゃかいほしよ せいど おお へんかく かいご ほけん せいど かいご じっせん ひつよう かんてん きそてき ちしき しゅうとく 介護に関する近年の社会保障制度の大きな変革である介護保険制度について、介護実践に必要な観点から基礎的知識を習得する。					
【授業の到達目標】					
1. こうれいしほけん ふくし どうこう しかい 高齢者保健福祉の動向について理解する。					
2. こうれいしほけん ふくし かん ほうたいけい しかい 高齢者保健福祉に関する法体系について理解する。					
3. かいご ほけん せいど しく しかい 介護保険制度の仕組みについて理解する。					
【授業の内容】					
1	こうれいしほけん ふくし どうこう 高齢者保健福祉の動向				
2	じんこう こうれいか こうれいしほけん ふくし 人口の高齢化と高齢者保健福祉				
3	こうれいしほけんふくし かんれん ほうたいけい 高齢者保健福祉に関連する法体系				
4	かいご ほけん せいど そうせつ はいけい もくてきかいご ほけん ほう もくてき りねん 介護保険制度創設の背景と目的・介護保険法の目的と理念				
5	かいご ほけん せいど しく しく がいよう 介護保険制度の仕組み① ・仕組みの概要				
6	かいご ほけん せいど しく ほけん しく しかい 介護保険制度の仕組み② ・保険の仕組みを理解する				
7	かいご ほけん せいど しく ひほけんしゃ ほけんしゃ かいご ほけんりようかいご ほけん せいど がいげん 介護保険制度の仕組み③ ・被保険者と保険者、介護保険料、介護保険制度の財源				
8	かいご ほけん せいど しく かいご ほけん せいど りようしゃふたん かいご ほけん りよう てつづ ようかいごにんてい なが さくせい 介護保険制度の仕組み④ ・介護保険制度における利用者負担、介護保険サービスの利用手続き(要介護認定の流れ、ケアプラン作成)				
9	かいご ほけん せいど しく かいご ほけん しゅるい ないようきょたく しせつ 介護保険制度の仕組み⑤ ・介護保険サービスの種類と内容(居宅サービス、施設サービス)				
10	かいご ほけん せいど しく かいご ほけん しゅるい ないよう ちいきみつちやくがた ちいきしえんじぎょう 介護保険制度の仕組み⑥ ・介護保険サービスの種類と内容(地域密着型サービス、地域支援事業)				
11	かいご ほけん せいど しく ちいき ほうかつ 介護保険制度の仕組み⑦ ・地域包括ケアシステム				
12	かいご ほけん せいど しく かいご ほけん せいど そしき だんたい やくわり 介護保険制度の仕組み⑧ ・介護保険制度における組織、団体の役割				
13	かいご ほけん せいど どうこう 介護保険制度の動向①				
14	かいご ほけん せいど どうこう 介護保険制度の動向②				
15	まとめ ていきしけんたいさく かいせつ ・定期試験対策と解説				
【成績評価の方法と基準】					
シュッセギョウカイド テイシヨツナド テイキコウサ セイセキ 講義への取り組み20%(出席・受講態度・提出物等)、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。					
【テキスト】					
しゃかい しかい さいしん かいごふくししやうせいこうざ だい かん ちゅうおうほうきしゅつばん 『社会の理解』 <最新・介護福祉士養成講座 第2巻> 中央法規出版					
さんこうしょ 【参考書】					
ふくし しよつぽう ちゅうおうほうきしゅつばん 『福祉小六法』 中央法規出版					
【備 考】					

シ ラ バ ス

れいわ ねんど
令和6年度ちせんふくしせいかせんもんがっこう
智泉福祉製菓専門学校

基本情報	ねんこうき 2年(後期)	にんげんしゃかい 人間と社会	ひつしゅう 必修	たんい 2単位30時間	じゅぎょうけいたいこうぎ 授業形態(講義)
科目名	しゃかいりかい 社会の理解Ⅲ	たんとう 担当	しみずあきひこ 清水 明彦		
			かいごふくししじつむけいけん 介護福祉士としての実務経験		
じゅぎょうがいよう 【授業の概要】					
かいごかんきんねんしゃかいほしよせいどおおへんかくしょうがいしゃそうごうしけんどかいごじっせんひつようかんてんきそてきちしきしゅうとく 介護に関する近年の社会保障制度の大きな変革である障害者総合支援制度について、介護実践に必要な観点から基礎的知識を習得する。					
じゅぎょうとうたつひよう 【授業の到達目標】					
1. しょうがいしゃふくしどうこうりかい 障がい者福祉の動向について理解する。					
2. しょうがいしゃふくしはんかんほうたいけいりかい 障がい者福祉に関する法体系について理解する。					
3. しょうがいしゃそうごうしえんせいどくみりかい 障がい者総合支援制度の仕組みについて理解する。					
じゅぎょうないよう 【授業の内容】					
1	しょうかんがしょうしょうしゃていぎ 障がいについて考える(障がいとは？ 障がい者の定義について)				
2	しょうがいそごうしえんせいどそうせつはいけいおもくてき 障害者総合支援制度創設の背景及び目的				
3	しょうがいそごうしえんせいどしくせいどがいよう 障害者総合支援制度の仕組み①制度の概要				
4	しょうがいそごうしえんせいどしくしょうがいふくしかいごきゅうふ 障害者総合支援制度の仕組み②障害福祉サービス(介護給付)				
5	しょうがいしゃそうごうしけんどしくしょうがいふくしくんれんときゅうふ 障害者総合支援制度の仕組み③障害福祉サービス(訓練等給付)				
6	しょうがいしゃそうごうしえんせいどしくしょうがいふくしちいきせいかつしえんじぎょう 障害者総合支援制度の仕組み④障害福祉サービス(地域生活支援事業)				
7	しょうがいしゃそうごうしえんせいどしくじどうかんせいど 障害者総合支援制度の仕組み⑤児童に関する制度				
8	しょうがいしゃふくしかん 障害者福祉に関するまとめ				
9	ひとびとけんりようごしょせいどしょせいどせいねんこうけんせいどにちじょうせいかつじりつしえんぎょう 人々の権利を擁護する諸制度①成年後見制度と日常生活自立支援事業				
10	ひとびとようごしょせいどぎゃくたいぼうしほうしんたいこうそくむ 人々の権利を擁護する諸制度②虐待防止法と身体拘束ゼロに向けて				
11	ひとびとけんりようごしょせいどしょうひしゃほごかんせいどせさくおよこじんじょうほうほご 人々の権利を擁護する諸制度③消費者保護に関する制度・施策及び個人情報保護				
12	ほけんいりょうふくしかんせいどせさくけんこうにつぽんいしほういりょうほうちいきほけんほう 保健医療福祉に関する制度・施策①健康日本21、医師法、医療法、地域保健法				
13	ほけんいりょうふくしかんせんしょうほう 保健医療福祉に関する制度・施策②感染症法				
14	せいかつさきしょせいどせいかつほごほうふくししきんせいかつこんきゅうむひやしえんせいど 生活を支える諸制度：生活保護法、福祉資金、生活困窮者自立支援制度				
15	ていきしけんたいさくかいせつ まとめ ・定期試験対策と解説				
せいせひょうかほうほうきじゆん 【成績評価の方法と基準】					
シュッセギョコウアイドテイシヨツナドテイキコウサセイセキ 講義への取り組み20%(出席・受講態度・提出物等)、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。					
【テキスト】					
しゃかいりかいさいしんかいごふくししょうせいこうざだいかんちゅうおうほうきしゅつばん 『社会の理解』 <最新・介護福祉士養成講座 第2巻> 中央法規出版					
さんこうしょ 【参考書】					
ふくししょうろつぽうちゅうおうほうきしゅつばん 『福祉小六法』 中央法規出版					
【備考】					

シ ラ バ ス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

キホン ジョウホ 基本情報	ネン ゼンキ 2年(前期)	カイゴ 介護	ヒツシュウ 必修	タンイ ジカン 2単位30時間	ジュギョウタイ 授業形態(講義)
カモク メイ 科目名	カイゴ キホン 介護の基本Ⅳ	タン トウ 担 当	オカダ ケイコ 岡田 恵子		
ジュギョウガイヨウ 【授業の概要】 カイゴ キボン カイコフクシン キボン リネン リカイ カイコフクシン リンリ セト ヤクソリ キノワ カイコ ビツヨウ 介護の基本では、介護福祉の基本となる理念を理解し、介護福祉士としての倫理に基づき、その役割と機能である、介護を必要とする人の理解と生活を支えるしくみ、自立支援、介護実践における安全とリスクマネジメント、多職種連携、介護従事者の安全に関し ヒト リカイ セイカツ ササ ジリツシエン カイゴジッセン ヤス ゼン タショクシュレンケイカイゴジュウ コトシヤンゼン カン て、介護実践の基礎となる知識を理論的に学ぶ。					
ジュギョウトウタマクヒョウ 【授業の到達目標】 ・レクリエーション支援の理解を深め、コミュニケーションを磨く ・アイスブレーキング、ホスピタリティを理解する カツドウ ジッセン シドウホウホウ ミ ツ とタリホ、活動の実践、指導方法を身に付ける。					
ジュギョウナイヨウ 【授業の内容】					
1	レクリエーションの理解	リカイ (実践)	ジッセン (実践)	コミュニケーションスキルアップ①	
2	レクリエーション活動がもたらす心の仕組み①	カツドウ (実践)	ココロ シク (実践)	ジッセン (実践)	コミュニケーションスキルアップ②
3	レクリエーション活動がもたらす心の仕組み②	カツドウ (実践)	ココロ シク (実践)	ジッセン (実践)	コミュニケーションスキルアップ③
4	レクリエーション活動がもたらす心の仕組みⅢ	カツドウ (実践)	ココロ シク (実践)	ジッセン (実践)	コミュニケーションスキルアップ④
5	ライフステージ・対象者ごとの課題の共有 タイショウシャ カダイ キョウユウ				
6	ICFに基づいたレクリエーション支援の理解① モト シエン リカイ				
7	ICFに基づいたレクリエーション支援の理解② モト シエン リカイ				
8	セレピューティックレクリエーションの理解 リカイ				
9	アイスブレーキング・ホスピタリティーの理解 (実践)グループワーク① リカイ ジッセン				
10	レクリエーション活動展開法 (実践)グループワーク② カツドウ シンカイホウ ジッセン				
11	レクリエーション活動の実践・指導① (実践)グループワーク③ カツドウ ジッセン シドウ ジッセン				
12	レクリエーション活動の実践・指導② (実践)グループワーク④ カツドウ ジッセン シドウ ジッセン				
13	レクリエーション活動の実践・指導③ (実践)グループワーク⑤ カツドウ ジッセン シドウ ジッセン				
14	レクリエーション活動の実践・指導④ (実践)グループワーク⑥ カツドウ ジッセン シドウ ジッセン				
15	レクリエーション活動の実践・指導⑤ (実践)グループワーク⑦ カツドウ ジッセン シドウ ジッセン				
セイセキョウカ ホウホウ キジュン 【成績評価の方法と基準】 講義への取組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】 タノ ココロ ゲンキ シエン リロン ホウホウニホン キョウカイ 『楽しさとおした心の元気づくり・レクリエーション支援の理論と方法』日本レクリエーション協会					
サンコウショ 【参考書】					
ビ コウ 【備考】					

シ ラ バ ス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

キホン ジョウホ 基本情報	ネン ゼンキ 2年(前期)	カイゴ 介護	ヒツシュウ 必修	タンイ ジカン 2単位30時間	ジュギ セウ タイ コウギ エンシュウ 授業形態(講義+演習)
カモク メイ 科目名	セイカツシエンギジュツ 生活支援技術 I	タン トウ 担 当	トガワ カヨコ 戸川 佳良子		
			カイゴフクシシ ジツムケイケン 介護福祉士としての実務経験		
ジュギョウガイヨウ 【授業の概要】 生活支援技術では、 I C F の視点を生活支援に活かすことの意義を理解し、自立に向けた居住環境、移動、身支度、食事、 ニュウヨク セイケツホジ ハイ カジ キュウソク スイミン ジンセイ サイシュウダンカイ カイゴ フクシヨウグ イギ カツヨウ キソテキ チ 入浴・清潔保持、排せつ、家事、休息・睡眠、人生の最終段階における介護、福祉用具の意義と活用について基礎的な知 シキ ギジュツ マナ 識・技術を学ぶ。					
ジュギョウトウタツクヒョウ 【授業の到達目標】 ス ヤクワリ キノウ カレイ セイカツツウカン カイテキ シツナイカンキョウ リカイ セイカツシエン フクシヨウグ ジュウヨウセイ テキセツ フクシヨウグ 住まいの役割と機能、加齢と生活空間、快適な室内環境を理解する。生活支援における福祉用具の重要性、適切な福祉用具 エラ シテン シュウトク を選ぶための視点を習得する。					
ジュギョウナイヨウ 【授業の内容】					
1	ス ヤクワリ キノウ 住まいの役割と機能				
2	セイカツツウカン イミ 生活空間の意味				
3	カイテキ シツナカンキョウ 快適な室内環境				
4	アンゼン ク セイカワンキョウ 安全に暮らすための生活環境				
5	コウレイシャショウ シャ ス 高齢者・障がい者の住まい				
6	キョジュウカンキ セウビ タショクシュ レンケイ 居住環境の整備における多職種との連携				
7	セイカツシエン フクシヨウグ ジュウヨウセイ 生活支援における福祉用具の重要性				
8	フクシヨウグ シュルイ 福祉用具の種類				
9	テキセツ フクシヨウグ エラ シテン 適切な福祉用具を選ぶための視点①				
10	テキセツ フクシヨウグ エラ シテン 適切な福祉用具を選ぶための視点②				
11	オウキュウテアテ 応急手当について				
12	オウキュウテアテ ジッサイ 応急手当の実際				
13	ヒサイチ カツヤク サイ ココロガマ 被災地で活躍する際の心構え				
14	サイガイジ セイカツシエン 災害時における生活支援				
15	まとめ				
セイセキョウカ ホウホウ キジュン 【成績評価の方法と基準】 コウギ トリク シュッセギョウカイド テインゴツナド テイキコウサ セイセキ ヒョウカ テンマンテン ヒョウカ ヒョウカテン テンイジョウ ゴウカク 講義への取り組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 ヒョウテイ ヒョウカテン テンイジョウ テンイジョウ テンミマン テンイジョウ テンミマン テンミマン 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
セイカツシエンギジュツ サイシンカイゴフクシシヨウセイコウザ ダイ カン チュウオウホウキシュツパン 『生活支援技術 I 』 <最新・介護福祉士養成講座 第6巻> 中央法規出版					
サンコウショ 【参考書】					
ビ コウ 【備 考】					

シ ラ バ ス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

キホン ジョウホ 基本情報	ネン ゼンキ 2年(前期)	カイゴ 介護	ヒツシュウ 必修	タンイ ジカン 4単位60時間	ジュギョウタイ 授業形態(講義)
カモク メイ 科目名	セイカツシエンギジュツ 生活支援技術Ⅲ	タン トウ 担 当	ワタナベ チエミ 渡邊 智恵美		
			カンゴシ ジツムケイケン 看護師としての実務経験		
ジュギョウガイヨウ 【授業の概要】					
セイカツシエンギジュツ シテン セイカツシエン イ イギ リカイ ジリツ ム キョジョウカンキョウ ミジタク ショクジ 生活支援技術では、ICFの視点を生活支援に活かすことの意義を理解し、自立に向けた居住環境、移動、身支度、食事、 ウヨクセイケツホジ ハイ カジ キュウソクスイミン ジンセイ サイショウダンカイ カイゴ フクシヨウグ イギ カツヨウ キソテキ チシキ ギジュツ マナ 浴・清潔保持、排せつ、家事、休息・睡眠、人生の最終段階における介護、福祉用具の意義と活用について基礎的な知識・技術を学ぶ。					
ジュギョウトウタツクヒョウ 【授業の到達目標】					
ショウガイ シツペイ ヒト イガクテキ シンリテキ ソクメン リカイ ①障害や疾病のある人について、医学的・心理的側面から理解する					
セイカツジョウ コマ リカイ ②生活上の困りごとを理解する					
ショウガイ シツペイ ヒト セイカツシエン カイゴフクシシ ハ ヤクワリ リカイ					
ジュギョウナイヨウ 【授業の内容】					
1	ガイダンス				
2	リョウシャ ジョウタダヨウキョウ セイカツシエンギジュツ 利用者の状態・状況に応じた生活支援技術				
3	ショウガイオウ セイカツシエンギジュツ 障害に応じた生活支援技術Ⅰ				
4	ショウガイオウ セイカツシエンギジュツ 障害に応じた生活支援技術Ⅰ				
5	ショウガイオウ セイカツシエンギジュツ 障害に応じた生活支援技術Ⅰ				
6	ショウガイオウ セイカツシエンギジュツ 障害に応じた生活支援技術Ⅰ				
7	ショウガイオウ セイカツシエンギジュツ 障害に応じた生活支援技術Ⅰ				
8	ショウガイオウ セイカツシエンギジュツ 障害に応じた生活支援技術Ⅰ				
9	ショウガイオウ セイカツシエンギジュツ 障害に応じた生活支援技術Ⅰ				
10	ショウガイオウ セイカツシエンギジュツ 障害に応じた生活支援技術Ⅰ				
11	ショウガイオウ セイカツシエンギジュツ 障害に応じた生活支援技術Ⅰ				
12	ジギョウシンケンガク 事業所見学①				
13	ジギョウシンケンガク 事業所見学②				
14	ジツギケン 実技試験				
15	ゼンキソウカツ 前期総括				
セイセキョウカ ホウホウ キジュン 【成績評価の方法と基準】					
講義への取組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
セイカツシエンギジュツ サイシンカイゴフクシシヨウセイヨウザ ダイ カン チュウオウホウキョッパン 『生活支援技術Ⅲ』 <最新・介護福祉士養成講座 第8巻> 中央法規出版					
サンコウショ 【参考書】					
ショウガイリカイ サイシンカイゴフクシシ ヨウセイヨウザ ダイ カン チュウオウホウキョッパン 『障害の理解』 <最新・介護福祉士養成講座 第14巻> 中央法規出版					
ビ コウ 【備 考】					

シ ラ バ ス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

キホン ジョウホ 基本情報	ネン コウキ 2年(後期)	カイゴ 介護	ヒツシュウ 必修	タンイ ジカン 4単位60時間	ジュギキョウタイ 授業形態(講義)
カモク メイ 科目名	セイカツシエンギジュツ 生活支援技術Ⅲ	タン トウ 担 当	ワタナベ チエミ 渡邊 智恵美		
			カンゴシ ジツムケイケン 看護師としての実務経験		
【授業の概要】					
セイカツシエンギジュツ シテン セイカツシエン イ イギ リカイ ジリツ ム キョジュウカンキョウワ ミジタク ショクジ ニュ 生活支援技術では、ICFの視点を生活支援に活かすことの意義を理解し、自立に向けた居住環境、移動、身支度、食事、入 浴・清潔保持、排せつ、家事、休息・睡眠、人生の最終段階における介護、福祉用具の意義と活用について基礎的な知識・技術を学ぶ。					
ジュギョウトウタツクヒョウ 【授業の到達目標】					
ショウガイ シツペイ ヒト イガクテキ シンリテキ ソクメン リカイ ①障害や疾病のある人について、医学的・心理的側面から理解する					
セイカツジョウ コマ リカイ ②生活上の困りごとを理解する					
ショウガイ シツペイ ヒト セイカツシエン カイゴフクシシ ハ ヤクワリ リカイ					
ジュギョウナイヨウ 【授業の内容】					
16	ショウガイオウ セイカツシエンギジュツ 障害に応じた生活支援技術Ⅱ				
17	ショウガイオウ セイカツシエンギジュツ 障害に応じた生活支援技術Ⅱ				
18	ショウガイオウ セイカツシエンギジュツ 障害に応じた生活支援技術Ⅱ				
19	ショウガイオウ セイカツシエンギジュツ 障害に応じた生活支援技術Ⅱ				
20	ショウガイオウ セイカツシエンギジュツ 障害に応じた生活支援技術Ⅱ				
21	ショウガイオウ セイカツシエンギジュツ 障害に応じた生活支援技術Ⅱ				
22	ショウガイオウ セイカツシエンギジュツ 障害に応じた生活支援技術Ⅱ				
23	ショウガイオウ セイカツシエンギジュツ 障害に応じた生活支援技術Ⅱ				
24	ショウガイオウ セイカツシエンギジュツ 障害に応じた生活支援技術Ⅱ				
25	ショウガイオウ セイカツシエンギジュツ 障害に応じた生活支援技術Ⅱ				
26	シセツケンガク 施設見学①				
27	シセツケンガク 施設見学②				
28	シセツケンガク 施設見学③				
29	シセツケンガク 施設見学④				
30	コウキ ソウカツ 後期総括				
セイセキョウカ ホウホウ キジュン 【成績評価の方法と基準】					
講義への取組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
セイカツシエンギジュツ サイシンカイゴフクシシヨウセイ コウザ ダイ カン チュウオウホウキョウパン 『生活支援技術Ⅲ』 <最新・介護福祉士養成講座 第8巻> 中央法規出版					
サンコウショ 【参考書】					
ショウガイリカイ サイシンカイゴフクシシ ヨウセイコウザ ダイ カン チュウオウホウキョウパン 『障害の理解』 <最新・介護福祉士養成講座 第14巻> 中央法規出版					
ヒ コウ 【備 考】					

シラバス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

キホン ジョウホ 基本情報	ネン ゼンキ 2年(前期)	カイゴ 介護	ヒツシュウ 必修	タンイ ジカン 2単位30時間	ジュギョウタイコウギ ジツシュウ 授業形態(講義+実習)
カモク メイ 科目名	セイカツシエンギジュツ 生活支援技術Ⅳ	タン トウ 担 当	ヒラオ カズコ 平尾 和子		
ジュギョウガイヨウ 【授業の概要】 セイカツシエンギジュツ シテン セイカツシエン イ イギ リカイ ジリツ ム キョジュウカンキョウウ ミジタク ショクジ ニュ 生活支援技術では、ICFの視点を生活支援に活かすことの意義を理解し、自立に向けた居住環境、移動、身支度、食事、入 ウヨクセイケツホジ ハイ カジ キュウソクスイミン ジンセイ サイシュウダンカイ カイゴ フクシヨウダ イギ カツヨウ キソテキ チシキ ギジュツ マナ 浴・清潔保持、排せつ、家事、休息・睡眠、人生の最終段階における介護、福祉用具の意義と活用について基礎的な知識・技術を学ぶ。					
ジュギョウトウタテクヒョウ 【授業の到達目標】 ソンゲン ホジ カンテン ジョウタイ ヒト ジリツ ジリツ ソンチョウ センザイノウリョウダ アンゼン エンジョ チシキ ギジュツ 尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出し、安全に援助できる知識や技術につい シュウトク て習得する。 ヒフク ヒフク ジツギ ジツシュウカテイケイザイショウヒセイカツカン チシキ オヨ ギジュツ ミ トオ ジョウキョウカキセツ ハンダン ノウリョクヤシナ 被服や被服実技実習、家庭経済・消費生活に関する知識及び技術を身につけることを通して、いろいろな状況で適切に判断できる能力を養う。					
ジュギョウナイヨウ 【授業の内容】					
1	ヒフクセイカツ イギ モクテキキノウ 被服生活の意義・目的・機能				
2	ヒフク カンリ ソザイ 被服の管理・素材				
3	センイ ヌノ トクチョウ 繊維・布の特徴				
4	ヒフク センタクセイソウ ス 被服の選択・清掃・ごみ捨て				
5	ヒフク ホウセイホシュウ キソ ジツシュウ 被服の縫製・補修 基礎実習①				
6	ヒフク ホウセイホシュウ キソ ジツシュウ 被服の縫製・補修 基礎実習②				
7	ヒフク ホウセイホシュウ キソ ジツシュウ 被服の縫製・補修 基礎実習③				
8	ヒフク ホカン カンリ 被服の保管・管理				
9	ヒフク エイセホジ 被服と衛生保持				
10	ヒフク ホウセイ オウヨウジツシュウカクヒセイサク 被服の縫製 応用実習 作品制作①				
11	ヒフク ホウセイ オウヨウジツシュウカクヒセイサク 被服の縫製 応用実習 作品制作②				
12	コウレイシャショウ シャ ヒフク 高齢者・障がい者の被服・デザイン				
13	シテン ICFの視点にもとづくアセスメント				
14	カテイセイカツ カテイケイエイ 家庭生活と家庭経営				
15	カテイケイザイ ショウヒセイカツ 家庭経済と消費生活 まとめ				
セイセキョウカ ホウホウ キジュン 【成績評価の方法と基準】 講義への取組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とす る。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】 セイカツシエンギジュツ サイシンカイゴフクシシヨウセイ コウザ ダイ カン チョウオウホウキセツパン 『生活支援技術Ⅰ』 <最新・介護福祉士養成講座 第6巻> 中央法規出版 オリジナルプリント					
サンコウショ 【参考書】					
ヒ コウ 【備 考】					

シラバス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

基本情報	2年(後期)	介護	必修	2単位30時間	授業形態(講義+実習)
科目名	生活支援技術Ⅴ	担当	平尾 和子		
【授業の概要】					
生活支援技術では、ICFの視点を生活支援に活かすことの意義を理解し、自立に向けた居住環境、移動、身支度、食事、入浴・清潔保持、排せつ、家事、休息・睡眠、人生の最終段階における介護、福祉用具の意義と活用について基礎的な知識・技術を学ぶ。					
【授業の到達目標】					
尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出し、安全に援助できる知識や技術について習得する。栄養や調理に関する知識を身につけることを通して、いろいろな状況で適切に判断できる能力を養う。					
【授業の内容】					
1	食生活(家事)の意義目的、栄養とは ICFの視点に基づくアセスメント				
2	栄養の理解 五大栄養素の働き 炭水化物、脂質				
3	栄養の理解 たんぱく質、無機質、ビタミン				
4	献立の立て方 献立作成				
5	食品の購入と選択				
6	食品の保存 食品衛生 食中毒				
7	調理の基本 食品の調理性				
8	調理実習:小麦粉の特性 高齢者用:野菜の下ごしらえ				
9	大分県郷土料理 団子汁 石垣もち やせうま				
10	高齢者の身体機能と栄養 高齢者の食事と調理				
11	調理実習:非常食 防災食について考える ポリ袋で作るご飯				
12	調理実習:間食 肉まん				
13	障害者の栄養と食生活				
14	高齢者の栄養 疾患と食生活改善				
15	まとめ 定期試験について				
【成績評価の方法と基準】					
講義への取組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
『生活支援技術Ⅰ』＜最新・介護福祉士養成講座 第6巻＞ 中央法規出版 『五訂増補食品成分表 2024』 実教出版 『家庭で作れる かみやすい 飲み込みやすい 高齢者のやわらか食132』 株式会社Gakken					
【参考書】					
【備考】					

シラバス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

キホン ジョウホ 基本情報	ネン ゼンキ 2年(前期)	カイゴ 介護	ヒッシユウ 必修	タンイ ジカン 4単位60時間	ジョギカブタイ コウギ エンシュウ 授業形態(講義+演習)
カモク メイ 科目名	カイゴカテイ テンカイ 介護過程の展開Ⅱ	タン トウ 担 当	アダチ トモカズ 安達 智一		
			カイゴフクシシ ジツムケイケン 介護福祉士としての実務経験		
【授業の概要】 介護過程では、介護過程の意義・目的及び介護過程展開の一連のプロセスに関する基礎的理解、介護過程とチームアプローチ、 コベツジレイ ツウ カイゴカテイ テンカイ ジッサイ カイゴソウゴウエンシュウ カイゴジッショウ セイカツシエンギジュツトウタ カモク レンドウ シヤ イ 個別事例を通じた介護過程の展開の実際について、介護総合演習や介護実習、生活支援技術等他の科目との連動を視野に入れ て、介護過程を展開できる能力を養う。					
【授業の到達目標】 「アセスメント」「計画の立案」「実施」「評価」の四つのプロセスについて、基礎的な知識を身に付けるとともに、事例を用 いて、具体的な展開方法を理解する。					
【授業の内容】					
1	アセスメントの実際①	16	ケイカクリツアン 計画立案		
2	アセスメントの実際②	17	ジッシン キロク 実施と記録		
3	セイカツシエン カダイ モクヒョウ カタ 生活支援の課題・目標のとらえ方	18	ジッシン キロク 実施と記録		
4	ジレイテンカイ カダイ メイカクカ モクヒョウカ 事例展開① 課題の明確化・目標設定	19	ヒョウカ 評価		
5	ジレイテンカイ カダイ メイカクカ モクヒョウカ 事例展開② 課題の明確化・目標設定	20	ヒョウカ 評価		
6	コベツエンジョケイカク 個別援助計画とは	21	カイゴカテイ テンカイ ジッサイ ジレイ 介護過程の展開の実際(事例2)		
7	ジレイテンカイ ケイカクリツアン ジッサイ 事例展開③ 計画立案の実際	22	アセスメント		
8	ジレイテンカイ ケイカクリツアン ジッサイ 事例展開④ 計画立案の実際	23	カダイ メイカクカ 課題の明確化		
9	コベツエンジョケイカク ジッシン リョウイテン 個別援助計画の実施の留意点	24	モクヒョウセツテイ 目標の設定		
10	ジレイテンカイ ジッシンキロク ジッサイ 事例展開⑤ 実施記録の実際	25	ケイカクリツアン 計画立案		
11	カイゴカテイ ヒョウカ 介護過程における評価	26	ケイカクリツアン 計画立案		
12	ジレイテンカイ ヒョウカ リョウイテンヒョウカ キロク 事例展開⑥ 評価の留意点・評価の記録	27	ジッシン キロク 実施と記録		
13	カイゴカテイ テンカイ ジッサイ ジレイ 介護過程の展開の実際(事例1)	28	ジョウホウシュウ 情報収集		
14		29	ジョウホウセイリ 情報の整理		
15		30	ゼンキ 前期のまとめ		
【成績評価の方法と基準】 講義への取組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評価は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】 『介護過程』＜最新・介護福祉士養成講座 第9巻＞ 中央法規出版					
【参考書】					
【備考】					

シラバス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

キホン ジョウホ 基本情報	ネン コウキ 2年(後期)	カイゴ 介護	ヒツシュウ 必修	タンイ ジカン 2単位30時間	ジュギキョウタイコウギ エンシュウ 授業形態(講義+演習)
カモク メイ 科目名	カイゴカテイ テンカイ 介護過程の展開Ⅲ	タン トウ 担 当	アダチ トモカズ 安達 智一		
			カイゴフクシシ ジツムケイケン 介護福祉士としての実務経験		
ジュギョウガイヨウ 【授業の概要】 介護過程では、介護過程の意義・目的及び介護過程展開の一連のプロセスに関する基礎的理解、介護過程とチームアプローチ、個別事例を通じた介護過程の展開の実際について、介護総合演習や介護実習、生活支援技術等他の科目との連動を視野に入れて、介護過程を展開できる能力を養う。					
ジュギョウトウタマクヒョウ 【授業の到達目標】 「アセスメント」「計画の立案」「実施」「評価」の四つのプロセスについて、基礎的な知識を身に付けるとともに、事例を用いて、具体的な展開方法を理解する。					
ジュギョウナイヨウ 【授業の内容】					
1	カイゴカテイ テンカイ フ カエ 介護過程の展開Ⅱ 振り返り				
2	ジレイケントウ コベツジレイ サイ 事例検討① 個別事例の再アセスメント				
3	ジレイケントウ ジッシ 事例検討② 実施				
4	ジレイケントウ ヒョウカ 事例検討③ 評価				
5	ジレイケントウ コベツジレイ 事例検討④ 個別事例まとめ				
6	ゼンタイゾウ ケアマネジメントの全体像				
7	コベツエンジョウケイカク カンケイセイ ケアプランと個別援助計画の関係性				
8	イギ チームアプローチの意義				
9	トカイ ス ニンク コウレイシャ セイカツエン 都会に住む1人暮らしの高齢者の生活支援				
10	リトウ シュツシンコウレイシャ ザイタクフツケン 離島出身の高齢者の在宅復帰支援				
11	ザイタク ムカ コウレイシャ カゾク セイカツシン 在宅でターミナルを迎える高齢者と家族の生活支援				
12	イリョウテキ ショチ ヒツヨウ コウレイシャ セイカツエン 医療的な処置が必要な高齢者の生活支援				
13	カタマヒ コウレイシャ コメ ジツゲン ム シエン 片麻痺のある高齢者の夢の実現に向けた支援				
14	サイガイ セイカツカンキョウオオ ヘンカ コウレイシャ シエン 災害によって生活環境を大きく変化せざるをえなかった高齢者への支援				
15	コウキ 後期まとめ				
セイセキョウカ ホウホウ キジュン 【成績評価の方法と基準】 講義への取り組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評価は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】 カイゴカテイ サイシンカイゴフクシシヨウセイコウザ ダイ カン チュウオウホウキシュツパン 『介護過程』＜最新・介護福祉士養成講座 第9巻＞ 中央法規出版					
サンコウショ 【参考書】					
ビ コウ 【備 考】					

シラバス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

キホン ジョウホ 基本情報	ネン ゼンキ 2年(前期)	カイゴ 介護	ヒツシュウ 必修	タンイ ジカン 2単位30時間	ジュギサウタイコウギ エンショウ 授業形態(講義+演習)
カモク メイ 科目名	カイゴ ソウゴウエンショウ 介護総合演習Ⅲ	タン トウ 担 当	アダチ トモカズ 安達 智一		
			カイゴフクシン ジツムケイケン 介護福祉士としての実務経験		
ジュギョウガイヨウ 【授業の概要】 カイゴソウゴウエンショウ カクリョウイキ マナ チシキ ギジュツ トウゴウ カイゴジッセン カガクテキタンキュウ トオ カイゴジッシュウ マナ シンカ カイゴ 介護総合演習は、各領域で学ぶ知識と技術の統合、介護実践の科学的探究を通し、介護実習での学びを深化させるとともに、介護 センモンショク シコウ タイド ケイセイ ジコキョウイクリョウオウ ヤシナ ソウゴウテキ ガクシュウ の専門職として思考や態度の形成、自己教育力等を養う総合的な学習 とする。					
ジュギョウトウタマクヒョウ 【授業の到達目標】 ダイ ダンカイジッシュウヒツヨウ チシキ ギジュツ トウゴウ オコナ ジッシュウ キョウイゴウカ タカ ジッシュウ フ カエ カイゴ チシキ ギジュツ ジッセン ムス 第3段階実習に必要な知識や技術の統合を行い、実習での教育効果を高める。実習を振り返り、介護の知識や技術を実践と結びつ ジコ カダイ メイカク センモンショク タイド シュウトク けて、自己の課題を明確にし、専門職としての態度を習得する。					
ジュギョウナイヨウ 【授業の内容】					
1	ジッシュウホウコタヘイビ 実習報告会準備①				
2	ジッシュウホウコタヘイビ 実習報告会準備②				
3	ジッシュウホウコクカイ 実習報告会				
4	ジッシュウホウコクカイ 実習報告会				
5	ダンカゼッシンシヤツ ガイヨウカイ 3段階実習施設概要理解				
6	ダンカゼッシンサダヨウ 3段階実習内容について				
7	ゲンバジッシンデワシメルサクセイ 現場実習提出書類作成				
8	ヤキンジッシュウ 夜勤実習について				
9	ジゼンホウモン 事前訪問オリエンテーション				
10	ジッシュウキロク 実習記録について①				
11	ジッシュウキロク 実習記録について②				
12	ジッシュウカダイ 実習課題について				
13	ジッシンキコウビ 実習帰校日①				
14	ジッシンキコウビ 実習帰校日②				
15	ダンカゼッシュウワ カエ 3段階実習宇振り返り				
セイセキョウカ ホウホウ キジュン 【成績評価の方法と基準】 コウギ トリク シュウセギョウサイド テイシゴツナド テイキコウサ セイセキ ヒョウカ テンマンテン ヒョウカ ヒョウカテン テンイジョウ ゴウカク 講義への取組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 ヒョウテイ ヒョウカテン テンイジョウ テンイジョウ テンミマン テンイジョウ テンミマン テンミマン 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】 カイゴソウゴウエンショウカイゴジッシュウ サイシンカイゴフクシンシヨクセイコウザ ダイ カン チュウオウホウキシュツパン 『介護総合演習・介護実習』＜最新・介護福祉士養成講座 第10巻＞ 中央法規出版					
サンコウショ 【参考書】					
ビ コウ 【備 考】					

シラバス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

キホン ジョウホ 基本情報	ネン センキ 2年(前期)	こころとからだのしくみ	ヒツシュウ 必修	タンイ ジカン 4単位60時間	ジュギョウケイタツギ 授業形態(講義)
カモク メイ 科目名	ハッタツ ロウカ リカイ 発達と老化の理解	タン トウ 担 当	アベ ミエコ 安部 美恵子		
			カンゴシ ジツム ケイケン 看護師としての実務経験		
ジュギョウガイヨウ 【授業の概要】 カイゴ ヒツヨウ ヒト リカイ フカ ニンゲン セイチョウハッタツ カンテン ヒト イッショウ リカイ カクキ ニュウヨウジキ ガクド 介護を必要とする人の理解を深めるため、人間の成長と 発達の観点から人の一生について理解する。ライフサイクル各期(乳幼児期、学童 期、思春期、青年期、成人期、老年期)における身体的・心理的・社会的特徴と発 達を踏まえ、各段階に応じた生活支援のあり方を学ぶ。また、 ハッタツ カンテン ロウカ リカイ ロウカ トモナシタイテキ・シンリテキ・シャカイテキノカ シツペイ セイカツ エイキョウ セイカツシエン カタ マナ 発達の観点から老化 を理解し、老化に伴う身体的・心理的・社会的な変化や疾病と生活への影響など、生活を支援するための基礎的な知識を 学ぶ。					
ジュギョウトウタマクヒョウ 【授業の到達目標】 ニンゲン セイチョウハッタツ カタイ シンタイテキ・シンリテキ・シャカイテキヘンカ ロウカ セイカツ オヨ エイキョウ リカイ トクチョウ 人間の成長と発達の過程における、身体的・心理的・社会的変化および老化が生活に及ぼす影響について理解し、ライフサイクルの特徴に オウ セイカツ シエン ヒツヨウ キソチシキ シュウトク 応じた生活を支援するために必要な基礎知識を習得する。					
ジュギョウナイヨウ 【授業の内容】					
1	セイチョウ・ハッタツ カンガエ 成長・発達の考え方				
2	セイチョウ・ハッタツ ゲンソク・ホウソク 成長・発達の原則・法則				
3	セイチョウ・ハッタツエイキョウ ヨウイン 成長・発達に影響する要因				
4	ハッタツリロン 発達理論①				
5	ハッタツリロン 発達理論②				
6	ハッタツダンカイハッタツカダイ 発達段階と発達課題①				
7	ハッタツダンカイハッタツカダイ 発達段階と発達課題②				
8	シンタイテキキノウ セイチョウハッタツ 身体的機能の成長と発達				
9	シンリテキキノウ ハッタツ 心理的機能の発達				
10	シャカイテキキノウ ハッタツ 社会的機能の発達				
11	ロウネンキ テイギ 老年期の定義				
12	ロウカ 老化とは				
13	ロウネンキ ハッタツカダイ 老年期の発達課題				
14	ロウネンキ コンニチテキカダイ 老年期をめぐる今日の課題				
15	ゼンキコウギ フ カエ 前期講義振り返り				
セイセキョウカ ホウホウ キジュン 【成績評価の方法と基準】 コウギ ト ク シュッセギョウアイド テイシュツザツ テイキコウサ セイセキ ヒョウカ 講義への取り組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考查の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格と する。					
【テキスト】 『こころとからだのしくみ』 <最新・介護福祉士養成講座 第11巻> チョウオウホウキシュツパン 中央法規出版					
サンコウショ 【参考書】					
ビ コウ 【備 考】					

シラバス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

キホン ジョウホ 基本情報	ネン コウキ 2年(後期)	こころとからだのしくみ	ヒッシユウ 必修	タンイ ジカン 4単位60時間	ジュギョウケイカウギ 授業形態(講義)
カモク メイ 科目名	ハッタツ ロウカ リカイ 発達と老化の理解	タン トウ 担 当	アベ ミエコ 安部 美恵子		
			カンゴシ ジツム ケイケン 看護師としての実務経験		
ジュギョウガイヨウ 【授業の概要】					
カイゴ ヒツヨウ ヒト リカイ フカ ニンゲン セイチョウハッタツ カンテン ヒト イッショウ リカイ カクキ ニュウヨウジキ ガクド 介護を必要とする人の理解を深めるため、人間の成長と 発達の観点から人の一生について理解する。ライフサイクル各期(乳幼児期、学童 ウ キ シジュンキ セイネンキ、 セイジンキ、ロウネンキ ハツ タチ フ カクダンカイ オウ セイカツシエン カタ マナ 期、思春期、青年期、成人期、老年期)における身体的・心理的・社会的特徴と発 達を踏まえ、各段階に応じた生活支援のあり方を学ぶ。また、 ハッタツ カンテン ロウカ リカイ ロウカ トモナシнтаイテキ・シンリテキ・シャカイトケンカ シツペイ セイカツ エイキョウ セイカツシエン キソテキ チシキ 発達の観点から老化 を理解し、老化に伴う身体的・心理的・社会的な変化や疾病と生活への影響など、生活を支援するための基礎的な知識を マナ 学ぶ。					
【授業の到達目標】					
ニンゲン セイチョウハッタツ カテイ シンタイテキ・シンリテキ・シャカイトテキヘンカ ロウカ セイカツ オヨ エイキョウ リカイ トクチョウ 人間の成長と発達の過程における、身体的・心理的・社会的変化および老化が生活に及ぼす影響について理解し、ライフサイクルの特徴に オウ セイカツ シエン ヒツヨウ キソチシキ シュウトク 応じた生活を支援するために必要な基礎知識を習得する。					
ジュギョウウナイヨウ 【授業の内容】					
16	ロウカ トモナ シンタイテキ ヘンカ セイカツ エイキョウ 老化に伴う身体的な変化と生活への影響①				
17	ロウカ トモナ シンタイテキ ヘンカ セイカツ エイキョウ 老化に伴う身体的な変化と生活への影響②				
18	ロウカ トモナ シンタイテキ ヘンカ セイカツ エイキョウ 老化に伴う身体的な変化と生活への影響③				
19	ケンコウチョウジュ ムゲ ケンコウ 健康長寿に向けての健康				
20	コウレイシャ ショウジョウ・シツカン トクチョウ 高齢者の症状・疾患の特徴				
21	コウレイシャ オオ シツカンショウジョウセイカツジョウリュウイテン 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点①				
22	コウレイシャ オオ シツカンショウジョウセイカツジョウリュウイテン 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点②				
23	コウレイシャ オオ シツカンショウジョウセイカツジョウリュウイテン 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点③				
24	コウレイシャ オオ シツカンショウジョウセイカツジョウリュウイテン 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点④				
25	コウレイシャ オオ シツカンショウジョウセイカツジョウリュウイテン 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点⑤				
26	コウレイシャ オオ シツカンショウジョウセイカツジョウリュウイテン 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点⑥				
27	コウレイシャ オオ シツカンショウジョウセイカツジョウリュウイテン 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点⑦				
28	コウレイシャ オオ シツカンショウジョウセイカツジョウリュウイテン 高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点⑧				
29	ホケンイリョウキカン レンケイ 保険医療機関との連携				
30	コウキコウギ フ カエ 後期講義振り返り				
セイセキョウカ ホウホウ キジュン 【成績評価の方法と基準】					
コウギ ト ク シュッセギョコウイド テイシュツザツ テイキコウサ セイセキ ヒョウカ 講義への取り組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格 とする。					
【テキスト】					
『こころとからだのしくみ』 <最新・介護福祉士養成講座 第11巻> チュウオウホウキシュッパン サイシン カイゴフクシ シ ヨウセイホウザ ダイ カン					
サンコウショ 【参考書】					
ビ コウ 【備 考】					

シラバス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

キホン ジョウホ 基本情報	ネン ゼンキ 2年(前期)	こころとからだのしくみ	ヒツシュウ 必修	タンイ ジカン 4単位60時間	ジュギョウタイ 授業形態(講義)
カモク メイ 科目名	ニンチショウ リカイ 認知症の理解	タン トウ 担 当	シバタ オスキ 柴田 雄企		
ジュギョウガイヨウ 【授業の概要】 認知症を取り巻く歴史的背景や施策、認知症のある人の現状を理解する。また、認知症の原因となる主な病気や症状の特徴を学び、それらによって引き起こされる機能の変化や日常生活への影響について理解し、個々にあった的確なケアが提供できるための知識、支援体制のあり方やその具体的方法について学ぶ。					
ジュギョウトウタツクヒョウ 【授業の到達目標】 認知症に関する基礎的知識を習得するとともに、認知症の人の体験や、生活の中での困難の特徴を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する。					
ジュギョウナイヨウ 【授業の内容】					
1	ニンチショウ 認知症とは				
2	ノウ シク 脳の仕組み				
3	ニンチショウ ヒト シンリ 認知症の人の心理				
4	チュウカクショウワダ 中核症状の理解				
5	セイカツショウ リカイ 生活障がい理解				
6	リカイ シンリショウジョウ BPSDの理解① 心理症状				
7	リカイ コウドウショウジョウ BPSDの理解② 行動症状				
8	リカイ タイオウ BPSDの理解③ 対応				
9	ニンチショウ シンダン ジュウショウド 認知症の診断と重症度①				
10	ニンチショウ シンダン ジュウショウド 認知症の診断と重症度②				
11	ガタニンチショウ アルツハイマー型認知症①				
12	ガタニンチショウ アルツハイマー型認知症②				
13	ケツカンセズンチショウ 血管性認知症				
14	ショウタイガタチショウ ゼントウクトウガタニンチショウ レビー小体型認知症 前頭側頭型認知症				
15	ジャクネンネンチショウ 若年性認知症				
セイセキョウカ ホウホウ キジュン 【成績評価の方法と基準】 講義への取組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】 ニンチショウ リカイ サイシンカイゴフクンショウセイヨウザ ダイ カン チュウオウハウキョウバン 『認知症の理解』＜最新・介護福祉士養成講座 第13巻＞ 中央法規出版					
サンコウショ 【参考書】					
ビ コウ 【備 考】					

シラバス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

キホン ジョウホ 基本情報	ネン コウキ 2年(後期)	こころとからだのしくみ	ヒツシュウ 必修	タンイ ジカン 4単位60時間	ジュギョウタイ コウギ 授業形態(講義)
カモク メイ 科目名	ニンチショウ リカイ 認知症の理解	タン トウ 担 当	シバタ ユウキ 柴田 雄企		
ジュギョウガイヨウ 【授業の概要】 認知症を取り巻く歴史的背景や施策、認知症のある人の現状を理解する。また、認知症の原因となる主な病気や症状の特 徴を学び、それらによって引き起こされる機能の変化や日常生活への影響について理解し、個々にあった的確なケアが提 供できるための知識、支援体制のあり方やその具体的方法について学ぶ。					
ジュギョウトウタツクヒョウ 【授業の到達目標】 認知症に関する基礎的知識を習得するとともに、認知症の人の体験や、生活の中での困難の特徴を理解し、本人のみなら ず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する。					
【授業の内容】					
16	ニンチショウ チリョウヤク 認知症の治療薬				
17	ニンチショウ ヨボウ 認知症の予防				
18	ニンチショウ ヒト ト マ ジョウキョウ 認知症の人を取り巻く状況				
19	ニンチショウ リネン シテン 認知症ケアの理念と視点				
20	ニンチショウ オウジシャ シテン ミ 認知症当事者の視点から見えるもの				
21	パーソン・センタード・ケア				
22	アセスメント・ツール センター方式 ホウシキ				
23	アセスメント・ツール ひもときシート				
24	ニンチショウ ヒト 認知症の人とのコミュニケーション				
25	ニンチショウ ヒト サマザマ 認知症の人への様々なアプローチ				
26	ニンチショウ ヒト シュウマツゼリョウ カイゴ カンキョウ 認知症の人の終末期医療と介護 環境づくり				
27	カゾク シエン 家族への支援①				
28	カゾク シエン 家族への支援②				
29	カイゴフクシショク シエン 介護福祉職への支援				
30	タショクシュレンケイキョウドウ 多職種連携と協働				
セイセキョウカ ホウホウ キジュン 【成績評価の方法と基準】 講義への取組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格と する。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】 ニンチショウ リカイ サイシン カイゴフクシショウセイロウザ ダイ カン チュウオウホウキョッパン 『認知症の理解』 <最新・介護福祉士養成講座 第13巻> 中央法規出版					
サンコウショ 【参考書】					
ビ コウ 【備 考】					

シ ラ バ ス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

キホン ジョウホ 基本情報	ネン ゼンキ 2年(前期)	こころとからだのしくみ	ヒツシュウ 必修	タンイ ジカン 4単位60時間	ジュギキョウタイ 授業形態(講義)
カモク メイ 科目名	ショウガイリカイ 障害の理解	タン トウ 担 当	ワタナベ チエミ 渡邊 智恵美		
			カンゴシ ジツムケイケン 看護師としての実務経験		
ジュギョウガイヨウ 【授業の概要】					
ショウガイ リカイ ショウガイノテキリカイ ショウガイ ガイネン キホンテキ リネン ショウガイ イガクテキ シンリテキ ソクメン キソテキ チシキ 障害の理解では、障害基礎的理解のとして、障害の概念や基本的理念、さらに障害の医学的・心理的側面の基礎的な知識 マナ ショウガイ ヒト トクセイ オウ シエン タシヨクシュレンケイ キョウドウ カゾク シエン マナ を学び、障害のある人のライフステージや特性に応じた支援、他職種連携と協働、家族への支援について学ぶ。					
ジュギョウトウタツクヒョウ 【授業の到達目標】					
ショウガイ キソテキリカイ ショウガイガイネン ショウ シャフクシ キホンリネン マナ イガクテキソクメン カクショウガイ ショウジョウツグッペイショウ 障害の基礎的理解として、障害概念や障がい者福祉基本理念のを学ぶ。医学的側面からは、各障害の症状や合併症などが ニテジョウイカツ オヨ エイキョウ リカイ セイカツシエン カンガ ショウガイ オヨ シンリテキエイキョウ ショウガイ ジュヨウ マナ 日常生活に及ぼす影響を理解し、生活支援を考える。また、障害が及ぼす心理的影響や障害の受容なども学ぶ。さらに ショウガイ ヒト トクセイ フ オコナ ジリツシエン チイキ タイセイ タシヨクシュキョウドウ は、障害のある人の特性を踏まえたアセスメントを行い、自立支援に むけた、地域におけるサポート体制や他職種協働の					
ジュギョウナイヨウ 【授業の内容】					
1	ガイダンス				
2	ショウガイガイネン キホンリネン 障害の概念と基本理念				
3	ショウガイベツキソテキ リカイ トクセイ オウ シエン 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅰ①				
4	ショウガイベツキソテキ リカイ トクセイ オウ シエン 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅰ②				
5	ショウガイベツキソテキ リカイ トクセイ オウ シエン 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅰ③				
6	ショウガイベツキソテキ リカイ トクセイ オウ シエン 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅰ④				
7	ショウガイベツキソテキ リカイ トクセイ オウ シエン 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅰ⑤				
8	ショウガイベツキソテキ リカイ トクセイ オウ シエン 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅰ⑥				
9	ショウガイベツキソテキ リカイ トクセイ オウ シエン 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅰ⑦				
10	ショウガイベツキソテキ リカイ トクセイ オウ シエン 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅰ⑧				
11	ショウガイベツキソテキ リカイ トクセイ オウ シエン 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅰ⑨				
12	ショウガイベツキソテキ リカイ トクセイ オウ シエン 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅰ⑩				
13	カゾク シエン 家族への支援①				
14	カゾク シエン 家族への支援②				
15	ゼンキソウカツ 前期総括				
セイセキョウカ ホウホウ キジュン 【成績評価の方法と基準】					
講義への取組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
ショウガイリカイ サイシンカイゴフクシシヨウセイ ヨウザ ダイ カン チュウオウホウキョッパン 『障害の理解』 <最新・介護福祉士養成講座 第14巻> 中央法規出版					
【参考書】					
セイカツシエンギジュツ サイシンカイゴフクシシ ヨウセイヨウザ ダイ カン チュウオウホウキョッパン 『生活支援技術Ⅲ』 <最新・介護福祉士養成講座 第8巻> 中央法規出版					
【備 考】					

シ ラ バ ス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

キホン ジョウホ 基本情報	ネン コウキ 2年(後期)	こころとからだのしくみ	ヒツシュウ 必修	タンイ ジカン 4単位60時間	ジュギキョウタイ 授業形態(講義)
カモク メイ 科目名	ショウガイリカイ 障害の理解	タン トウ 担 当	ワタナベ チエミ 渡邊 智恵美		
カンゴシ ジツムケイケン 看護師としての実務経験					
【授業の概要】					
ショウガイ リカイ ショウガイソテキリカイ ショウガイ ガイネン キホンテキ リネン ショウガイ イガクテキ シンリテキ ソクメン キソテキ チシキ 障害の理解では、障害基礎的理解のとして、障害の概念や基本的理念、さらに障害の医学的・心理的側面の基礎的な知識 マナ ショウガイ ヒト トクセイ オウ シエン タショクシュレンケイ キョウドウ カゾク シエン マナ を学び、障害のある人のライフステージや特性に応じた支援、他職種連携と協働、家族への支援について学ぶ。					
ジュギョウトウタツクシヨウ 【授業の到達目標】					
ショウガイ キソテキリカイ ショウガイガイネン ショウ シヤクシ キホンリネン マナ イガクテキソクメン カクショウガイ ショウジョウガッペイショウ 障害の基礎的理解として、障害概念や障がい者福祉基本理念のを学ぶ。医学的側面からは、各障害の症状や合併症などが ニチジョウイカツ オヨ エイキョウ リカイ セイカツシエン カンガ ショウガイ オヨ シンリテキエイキョウ ショウガイ ジュウ マナ 日常生活に及ぼす影響を理解し、生活支援を考える。また、障害が及ぼす心理的影響や障害の受容なども学ぶ。さらに ショウガイ ヒト トクセイ フ オコナ ジリツシエン チイキ タイセイ タショクシュキョウドウ は、障害のある人の特性を踏まえたアセスメントを行い、自立支援に むけた、地域におけるサポート体制や他職種協働の					
ジュギョウナイヨウ 【授業の内容】					
16	ショウガイベツキソテキ リカイ トクセイ オウ シエン 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅱ①				
17	ショウガイベツキソテキ リカイ トクセイ オウ シエン 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅱ②				
18	ショウガイベツキソテキ リカイ トクセイ オウ シエン 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅱ③				
19	ショウガイベツキソテキ リカイ トクセイ オウ シエン 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅱ④				
20	ショウガイベツキソテキ リカイ トクセイ オウ シエン 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅱ⑤				
21	ショウガイベツキソテキ リカイ トクセイ オウ シエン 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅱ⑥				
22	ショウガイベツキソテキ リカイ トクセイ オウ シエン 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅱ⑦				
23	ショウガイベツキソテキ リカイ トクセイ オウ シエン 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅱ⑧				
24	ショウガイベツキソテキ リカイ トクセイ オウ シエン 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅱ⑨				
25	ショウガイベツキソテキ リカイ トクセイ オウ シエン 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅱ⑩				
26	ショウガイベツキソテキ リカイ トクセイ オウ シエン 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅱ⑪				
27	ショウガイベツキソテキ リカイ トクセイ オウ シエン 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅱ⑫				
28	ショウガイベツキソテキ リカイ トクセイ オウ シエン 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅱ⑬				
29	レンケイ キョウドウ 連携と協働				
30	コウキンウカツ 後期総括				
セイセキョウカ ホウホウ キジュン 【成績評価の方法と基準】					
講義への取組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
ショウガイリカイ サインカイゴフクシシヨウセイ ヨウザ ダイ カン チュウオウホウキョッパン 『障害の理解』 <最新・介護福祉士養成講座 第14巻> 中央法規出版					
サンコウショ 【参考書】					
セイカツシエンギジュツ サインカイゴフクシシ ヨウセイヨウザ ダイ カン チュウオウホウキョッパン 『生活支援技術Ⅲ』 <最新・介護福祉士養成講座 第8巻> 中央法規出版					
ビ コウ 【備 考】					

シ ラ バ ス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

キホン ジョウホ 基本情報	ネン ゼンキ 2年(前期)	イリョウテキ 医療的ケア	ヒツシュウ 必修	タンイ ジカン 3単位80時間	ジュギョウタイコウギ ジッショウ 授業形態(講義+実習)
カモク メイ 科目名	イリョウテキ 医療的ケア	タン トウ 担 当	ワタナベ チエミ 渡邊 智恵美		
			カンゴシ ジツム ケイケン 看護師としての実務経験		
ジュギョウガイヨウ 【授業の概要】					
イリョウテキ ジッセン キソ カクタンキュウイソテキチシキ ジッシ テジュン ケイカンエイヨウソテキチシキ ジッシテジュン マナ 医療的ケア実践の基礎と喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)、経管栄養(基礎的知識・実施手順)について学ぶ					
ジュギョウトウタツクヒョウ 【授業の到達目標】					
カイゴフクシシ イ コウイ イチブ ゴウ オコナ ハイケイ リカイ イリョウテキ アンゼン ジッシ キソチシキ リュウイテン リカイ 介護福祉士が医行為の一部を業として行うことの背景を理解し、医療的ケアを安全に実施するための基礎知識、留意点を理解する。シミュ レーターを使用した各演習において、ケア実践の流れと留意点を習得する。					
ジュギョウナイヨウ 【授業の内容】					
1	医療的ケアとは 実施の基礎知識				
2	喀痰吸引制度の概要				
3	医療的ケアと喀痰吸引等の背景				
4	安全な実施・救急蘇生				
5	感染予防 承諾・滅菌・手洗い				
6	バイタルサイン 急変時の対応				
7	心肺蘇生法の実際				
8	呼吸器の働き 人工呼吸器				
9	人工呼吸器と吸引				
10	子どもの吸引				
11	喀痰吸引により生じる危険・事後の確認				
12	コウレイシャ ショウ ジ シャ カクタンキュウイロン 高齢者および障がい児者の喀痰吸引概論				
13	コウレイシャ ショウ ジ シャ カクタンキュウイロン 高齢者および障がい児者の喀痰吸引実施手順				
14	吸引の技術と留意点				
15	喀痰吸引に伴うケア・口腔ケア				
セイセキョウカ ホウホウ キジュン 【成績評価の方法と基準】					
講義への取組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
イリョウテキ サイシンカイゴフクシシ ヨウセロウザ ダイ カン チュウオウホウキシツパン 『医療的ケア』＜最新・介護福祉士養成講座 第15巻＞ 中央法規出版					
サンコウショ 【参考書】					
ビ コウ 【備 考】					

シラバス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

キホン ジョウホ 基本情報	ネン コウキ 2年(後期)	イリョウテキ 医療的ケア	ヒツシュ 必修	タンイ ジカン 3単位80時間	ジュギョウタイコウギ ジッシュウ 授業形態(講義+実習)
カモク メイ 科目名	医療的ケア	タン トウ 担 当	ワタナベ チエミ 渡邊 智恵美		
			カンゴシ ジツム ケイケン 看護師としての実務経験		
ジュギョウガイヨウ 【授業の概要】					
イリョウテキ ジッセン キソ カクタンキュウ イソテキチシキ ジッシ テジュン ケイカンエイヨウソテキチシキ ジッシテジュン マナ 医療的ケア実践の基礎と喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)、経管栄養(基礎的知識・実施手順)について学ぶ					
ジュギョウトウタツクヒョウ 【授業の到達目標】					
カイゴフクシシ イ コウイ イチブ ゴウ オコナ ハイケイ リカイ イリョウテキ アンゼン ジッシ キソチシキ リュウイテン リカイ 介護福祉士が医行為の一部を業として行うことの背景を理解し、医療的ケアを安全に実施するための基礎知識、留意点を理解する。シミュ レーターを使用した各演習において、ケア実践の流れと留意点を習得する。					
ジュギョウナイヨウ 【授業の内容】					
16	コウレイシャ ショウ ジ シャ ケイカンエイヨウ 高齢者および障がい児者の経管栄養概論	31	キカン ナイブ キュウインジッサイ 気管カニューレ内部吸引の実際		
17	消化器系のしくみとはたらき	32	キカン ナイブ キュウインジッサイ 気管カニューレ内部吸引の実際		
18	消化・吸収とよくある消化器の症状	33	キカン ナイブ キュウインジッサイ 気管カニューレ内部吸引の実際		
19	経管栄養とは・注入する内容に関する知識	34	ケイビ ケイカンエイヨウ ジッサイ 経鼻経管栄養の実際		
20	経管栄養実施上の留意点	35	ケイビ ケイカンエイヨウ ジッサイ 経鼻経管栄養の実際		
21	子どもの経管栄養・経管栄養に関する感染と予防	36	ケイビ ケイカンエイヨウ ジッサイ 経鼻経管栄養の実際		
22	生じる危険・注入後の安全確認	37	ケイビ ケイカンエイヨウ ジッサイ 経鼻経管栄養の実際		
23	ヒヤリハット アクシデント時の対応	38	イロウ エイヨウ ジッサイ 胃瘻からの栄養の実際		
24	器具・器材とその仕組み・清潔の保持	39	イロウ エイヨウ ジッサイ 胃瘻からの栄養の実際		
25	コウレイシャ ショウ ジ シャ ケイカンエイヨウソテキチシキ 高齢者および障がい児者の経管栄養実施手順	40	イロウ エイヨウ ジッサイ 胃瘻からの栄養の実際		
26	コウクウ ビクウ キュウインジッサイ 口腔・鼻腔からの吸引の実際				
27	コウクウ ビクウ キュウインジッサイ 口腔・鼻腔からの吸引の実際				
28	コウクウ ビクウ キュウインジッサイ 口腔・鼻腔からの吸引の実際				
29	コウクウ ビクウ キュウインジッサイ 口腔・鼻腔からの吸引の実際				
30	キカン ナイブ キュウインジッサイ 気管カニューレ内部吸引の実際				
セイセキョウカ ホウホウ キジュン 【成績評価の方法と基準】					
講義への取組み(出席・受講態度・提出物等)20%、定期考査の成績80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
イリョウテキ サイシンカイゴフクシシ ヨウセロウザ ダイ カン チュウオウホウキシツパン 『医療的ケア』＜最新・介護福祉士養成講座 第15巻＞ 中央法規出版					
サンコウショ 【参考書】					
ビ コウ 【備 考】					

キホン ジョウホ 基本情報	ネン センキ 1年(前期)	カイゴ 介護	ヒツシュウ 必修	ジカン 80時間	ジュギョウタイジツシュウ 授業形態(実習)
カモク メイ 科目名	カイゴジツシュウ 介護実習 I	タン トウ 担 当			
【授業の概要】 介護実習では、個々の生活リズムや個性を理解するという観点から様々な生活の場において 個別ケアを理解し、利用者・家族とのコミュニケーションの実践、介護技術の確認、多職種協働や関係機関 との連携を通じてチームの一員としての介護福祉士の役割を理解する。 個別ケアを行うために、個々の生活リズムや個性を理解し、利用者のニーズに沿って利用者ごとの介護計画の作成、実施、実施後の評価、計画の修正といった一連の介護過程を展開し、他科目で学習した知識や技術を総合し					
【授業の到達目標】 ①介護福祉士の活躍する様々な福祉施設の概要を知る。 ②介護福祉士の役割を理解する。 ③コミュニケーションの大切さを知る。					
【実習の内容】 1. 福祉施設の概要を知る。 運営方針・特色・対象利用者・職員の職種・業務体制などを知る。 施設概要記録表を作成する。 2. 介護福祉士の役割を理解する。 介護職員の業務内容を知る。 施設別の介護福祉士の役割を理解する。 介護技術の意味を考え、根拠を意識して実践する。 3. コミュニケーションの大切さを知る。 利用者と積極的にコミュニケーションを図る。 利用者の尊厳保持の重要性を知る。 目線を合わせ、傾聴する。 声の大きさ、高さ、速度、表情を考える。 利用者との距離、共感的態度を理解する。 指導職員に報告・連絡・相談を行う。 自分の所在を明らかにし、援助終了後は速やかに報告できるようにする。					
【成績評価の方法と基準】 実習への取り組み(出席・受講態度・提出物等)20%、巡回指導の内容、施設評価等を80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
【参考書】					
【備考】					

シラバス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

基本情報	1年(後期)	介護 介護	必修	136時間	授業形態(実習)
科目名	介護実習Ⅱ	担当			
【授業の概要】 介護実習では、個々の生活リズムや個性を理解するという観点から様々な生活の場において 個別ケアを理解し、利用者・家族とのコミュニケーションの実践、介護技術の確認、多職種協働や関係機関 との連携を通じてチームの一員としての介護福祉士の役割を理解する。 個別ケアを行うために、個々の生活リズムや個性を理解し、利用者のニーズに沿って利用者ごとの介護計画の作成、実施、実施後の評価、計画の修正といった一連の介護過程を展開し、他科目で学習した知識や技術を総合して、具					
【授業の到達目標】 ①利用者の状態を観察することができる。 ②安全性と快適さに配慮した介護技術を実践することができる。					
【実習の内容】 1. 利用者の状態を観察する。 利用者とのコミュニケーションを図る時、何を知らうとするのかを意識し、意図をもって観察する。 利用者の身体的・精神(心理)的・社会的・生活歴の視点から情報をまとめ、全体像を把握する。 2. 安全性と快適さに配慮した介護技術を実践する。 個別介護の必要性を理解し、個々の利用者に適した介護技術を体得する。 利用者の状態を把握し、根拠に基づいた介護技術の実践を行う。 指導者の指導のもと、実践する。 24時間の生活援助を学ぶ。 生活援助は利用者の24時間の生活を把握することから始まることを理解する。 3. 対人援助を意識したコミュニケーションをとることができる。 援助場面において、行う援助の説明、同意を得る、体調観察等、適切な声かけを行う。 尊厳をもってコミュニケーションを図り、信頼関係を築く。 4. カンファレンスの持ち方を学ぶ。 実習進度の調整を含めた振り返りを行う。 実習終了時には、実習課題の達成度および段階実習の振り返りを実習指導者と報告し、指導者から助言を受ける。					
【成績評価の方法と基準】 実習への取り組み(出席・受講態度・提出物等)20%、巡回指導の内容、施設評価等を80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
【参考書】					
【備考】					

シラバス

令和6年度

智泉福祉製菓専門学校

キホン ジョウホ 基本情報	ネン ゼンキ 2年(前期)	カイゴ 介護	ヒツシュウ 必修	ジカン 240時間	ジュギョウタイジツシュウ 授業形態(実習)
カモクメイ 科目名	カイゴジツシュウ 介護実習Ⅲ	タン トウ 担 当			

ジュギョウガイヨウ 【授業の概要】 介護実習では、個々の生活リズムや個性を理解するという観点から様々な生活の場において 個別ケアを理解し、利用者・家族とのコミュニケーションの実践、介護 技 ジュツカクニタシヨクシュキョ カドウエイキカン レンケイツウ イチイン カイゴフク シン ヤクワリリカイ コベツ オコ ココ セイ カツ コセイ リカイ 術の確認、多職種協働や関係機関 との連携を通じてチームの一員としての介護福 祉士の役割を理解する。個別ケアを行うために、個々の生 活リズムや個性を理解し、 リヨウシャ ソ リヨウシャ カイゴケイカクサクセイジツシ ジツシゴ ヒョウカケイカクシュウセイ イチレン カイゴカテイ テンカイ ホカカモク ガクシュウ チシキ ギジュツソウゴウ 利用者のニーズに沿って利用者ごとの介護計画の作成、実施、実施後の評価、計画の修正といった一連 の介護過程を展開し、他科目で学習した知識や技術を総合し グタイテキ カイゴ テイキョウホン ジッセンリミク					
--	--	--	--	--	--

ジュギョウトウタテクヒョウ 【授業の到達目標】 カイゴカテイ テンカイ リカイ ①介護過程の展開を理解する。 コンキョ モト カイゴギジュツ ジッセン ②根拠に基づいた介護技術を実践できる。					
--	--	--	--	--	--

ジツシュウナイヨウ 【実習の内容】					
------------------------------	--	--	--	--	--

カイゴカテイ テンカホウホウ リカイ 1. 介護過程の展開方法を理解する。 テンカイ ヒツヨウ ジョウホウシュウシュウ 展開に必要な情報を収集する。 タイショウシゲツテイ ジョウキョウシュウコナ 対象者を決定し、情報収集を行う。 ヒョウジョウホウキロク アセスメント表に情報を記録する。 オコナ セイカツカダイ メイカク アセスメントを行い、生活課題を明確にする。 ジョウホウカイシャクカンレンツ トウゴウカ オコナ 情報の解釈・関連付け・統合化を行う。 ヒョウキロク アセスメント表に記録する。 コベツエンジガイカク リツアン 個別援助計画を立案する。 タンキモクヒョウウチョウキモクヒョウツテイ 短期目標・長期目標を設定する。 エンジョナイヨウシンエンホウホウ セツテイ 援助内容・支援方法を設定する。 コベツエンジョケイカクショキロク 個別援助計画書に記録する。 コベツエンジョケイカク ジッシ 個別援助計画を実施する。 リツアン コベツエンジョケイカク モト シエン ジッシ 立案した個別援助計画に基づき支援を実施する。 ジリツシエン アンデンセイソングン ホジ リョウイ 自立支援・安全性・尊厳の保持に留意する。 ジツシキロクヒョウ キロク 実施記録表に記録する。 コンキョ モト カイゴギジュツ ジッセン 2. 根拠に基づいた介護技術を実践する。 カイゴケイカク モト コベツ カイゴ リカイ 介護計画に基づいた個別介護を理解する。 リヨウシャヒトリ カイゴ ホウホウ ジッセン 利用者一人ひとりに適した介護方法を実践する。 コンキョ モト カイゴギジュツ ジッセン オコナ 根拠に基づいた介護技術の実践を行う。 ヤキンジツシュウトオ リヨウシャ ジカン セイカツ シエン 夜勤実習を通して、利用者の24時間の生活を支援する。 モ カタ リカイ 3. カンファレンスの持ち方を理解する。 ウンエホウホウ シ エンジョホウホウ タシヨクシキョウドウリカイ カンファレンスの運営方法を知り、援助方法へのつながり、多職種協働を理解する。 ジツシュウキロクヒョウキニュー 4. 実習記録表を記入する。 ニチ ジツシガイヨウ コウサツ フ カエ ジツシュウキロクヒョウキロク ジツシュウ オコナ 1日の実習内容と考察、振り返りを実習記録表に記録し、実習のまとめを行う。 セイセキョウカ ホウホウ キジュン 【成績評価の方法と基準】					
---	--	--	--	--	--

ジツシュウ 実習への取り組み(出席・受講態度・提出物等)20%、巡回指導の内容、施設評価等を80%として評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。
シュツセギョウイド テイシュツザツ ジュンカイシドウ ナイヨウ シセツヒョウカトウ 評価は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D
【テキスト】
サンコウショ 【参考書】
ビ コウ 【備 考】